

【Master's program】

信州大学大学院 総合理工学研究科 修士課程

Graduate School of Science and Technology

学 生 便 覧

Study handbook

2026年度入学生用（26FS）

＜ 織 維 学 専 攻 ＞
先進繊維・感性工学分野
機械・ロボット工学分野
化学・材料分野
応用生物科学分野

2026年度入学生用（26BS）

＜ 生 命 医 工 学 専 攻 ＞
生命工学分野
生体医工学分野

この学生便覧はあなたが修了するまで適応されます。

修了するまで保管してください。

Ueda Campus

目 次

1	教育・研究の理念と目標, カリキュラム・ポリシー並びにディプロマ・ポリシー	
1-1	信州大学・総合理工学研究科の理念と目標	3
1-2	信州大学・総合理工学研究科の「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」	4
1-3	繊維学専攻の「教育・研究の理念と目標」「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」	6
1-4	生命医工学専攻の「教育・研究の理念と目標」「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」	7
2	学修心得並びに授業科目一覧等	
2-1	繊維学専攻の学修心得・修士課程授業科目及び担当教員等	8
2-2	生命医工学専攻の学修心得・修士課程授業科目及び担当教員等	19
2-3	履修プロセス概念図「繊維学専攻」「生命医工学専攻」	21
2-4	大学院共通教育用科目について	26
2-5	教育職員免許上（専修免許）の取得方法について	27
2-6	特例の履修制度について	28
3	修士論文評価基準並びに学位論文等審査, 最終試験及び修了判定実施要項等	
3-1	大学院総合理工学研究科の学位論文等審査及び最終試験並びに修了判定実施要項	30
3-2	大学院総合理工学研究科修士論文評価基準	31
4	規則集, その他	
4-1	学生の懲戒について	32
4-2	信州大学における授業の出席に関する要項	34
4-3	台風・大雪等における授業及び試験の取り扱いについて	35
4-4	進級に関する申合せ	36
4-5	総合理工学研究科__関係規則・規程集	37
4-6	「信大コンピテンシー」、「学修・教育における AI 活用に関するガイドライン」	38
	※「信州大学大学院学則」、「信州大学学位規程」、「信州大学大学院総合理工学研究科規程」については 4-5 総合理工学研究科__関係規則・規程集のリンクからご覧ください。	
	(注) ・ この学修便覧は, 信州大学大学院総合理工学研究科修士課程の5専攻のうち, 繊維学専攻, 生命医工学専攻の2専攻分について示したものである。	
	・ <u>なお, この「学生便覧」は修了するまで紛失することのないように保管すること。</u>	

1-1 信州大学・総合理工学研究科の理念と目標

【信州大学の理念】

信州大学は、

信州の豊かな自然、その歴史と文化、人々の営みを大切にします。

信州大学は、

その知的資産と活動を通じて、自然環境の保全、人々の福祉向上、産業の育成と活性化に奉仕します。

信州大学は、

世界の多様な文化・思想の交わる場所であり、それらを理解し受け入れ共に生きる若者を育てます。

信州大学は、

自立した個性を大切にします。

信州大学で学び、研究する我々は、

その成果を人々の幸福に役立て、人々を傷つけるためには使いません。

【信州大学の目標】

信州大学は、

その存立の理念に基づき、教育・研究・地域貢献・国際交流において次の目標を掲げます。

(教育)

かけがえのない自然を愛し、人類文化・思想の多様性を受容し、豊かなコミュニケーション能力を持つ教養人であり、自ら具体的な課題を見出しその解決に果敢に挑戦する精神と高度の専門知識・能力を備えた個性を育てます。

(研究)

人類の知のフロンティアを切り拓き、自然との共存のもとに人類社会の持続的発展を目指した独創的研究を推進し、その成果を地域と世界に発信し、若い才能を引きつける研究環境を築きます。

(地域貢献)

信州の自然環境の保全、歴史と文化・伝統の継承・発展、人々の教育・福祉の向上と産業発展の具体的な課題に貢献するため、大学を人々に開放し関連各界との緊密な連携・協力を進めます。

(国際交流)

諸外国から学生・研究者を積極的に受け入れ、世界に開かれた大学とし、信州の国際交流の大きい推進力となります。

【総合理工学研究科の理念と目標】

総合理工学研究科は、信州の豊かな自然環境のもと、地域に根ざし世界に開かれた大学院として、それぞれの専門分野において社会に資する有為な人材を育成するための教育・研究を推進します。幅広い学問分野を含む利点を生かして、学際領域を開拓する進取の気性に富んだ人材を育成し、広い視野と高い課題解決能力をもつ高度専門職業人を養成することを教育・研究の理念とします。

本研究科は、高度な専門知識・技術および周辺分野の課題にも対応した応用力・俯瞰力と批判的思考力をもつ高度専門職業人、創造性豊かな研究者、および環境調和社会を支える知的素養と倫理観を備えた人材を養成することを教育・研究目標とします。

1-2 信州大学・総合理工学研究科の「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

信州大学大学院

信州大学大学院では、俯瞰力と独創力を備え、持続可能な価値社会を創造する質の高い高度専門職業人や、先端的研究を推進する人材を養成するために、以下のように各課程の学位授与方針を定める。

1. 修士課程にあつては、広い視野に立って精深な学識を持ち、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を修得している。
2. 博士課程にあつては、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するのに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を修得している。
3. 専門職学位課程にあつては、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を修得している。

総合理工学研究科

総合理工学研究科では、以下の知識と能力等を十分培い、かつ、専攻ごとに定められた学位授与方針に適う知識と能力等を有する学生に「修士」の学位を授与します。

1. 人類、社会の平和的・持続的発展のために、研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観
2. 環境調和社会、知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力
3. さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力
4. 深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

信州大学大学院

＜大学院課程における教育課程編成の方針＞

1. 信州大学大学院は、研究科及び専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設するとともに、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成します。
2. 信州大学大学院は、教育課程の編成に当たっては、専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮します。

＜大学院課程における教育課程実施の方針＞

1. 信州大学大学院は、専門性の一層の向上を図り幅広い学識を涵養するため、コースワークを充実させ、コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的な教育を行います。また、各研究科の「学位授与の方針」に定めた、修了時までには修得すべき知識・能力等がカリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため、シラバスで「学位授与の方針」で定められた知識・能力等との対応を示し、それら諸能力等を修得するプロセスを履修プロセス概念図で示します。
2. 信州大学大学院は、学生個々人の主体的で活発な勉学意欲を促進する立場から、授業時間外の多様な学修研究機会を通じ、諸課題に積極的に挑戦させます。
3. 信州大学大学院は、成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、学位授与の方針に基づき各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点します。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
 - ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定します。
 - ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。
4. 信州大学大学院は、修士課程及び博士課程の学位論文審査体制を充実させ、厳格な審査を行います。

総合理工学研究科

総合理工学研究科は、高度専門職業人、研究者等に必要とされる高度な専門知識・技能、倫理観、実践力、情報収集・分析能力、情報発信能力及び批判的思考力を身につけることを目標として、学位論文の作成を中心に、講義、演習、実験、実習等からなる専門性の高いカリキュラムを策定しています。カリキュラムの実施にあたってはコースワークから学位論文作成へ有機的につながる体系的な教育を行います。加えて、本研究科が幅広い学問分野により構成されているという利点を生かして、分野・専攻を超えた学際的な共通科目を設定することで、高い専門性と総合性のバランスを確保し、深い専門性と近傍分野における課題解決についての応用力や工学系領域全体に対応する俯瞰力も養成します。

また、成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、学位授与の方針に基づき各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点します。

【評価方法】

- ・ 講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・ 演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・ 授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。
修士学位論文審査体制を充実させ、厳格で透明な論文審査を行い修了判定を実施します。

1-3 繊維学専攻

「教育・研究の理念と目標」「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」

【繊維学専攻の教育・研究の理念と目標】

本専攻は、豊かな自然に抱かれた上田キャンパスにあり、衣・食・住の要である「繊維」に根ざした伝統的な科学技術を背景として、学際的先端技術のさらなる展開を図り、21世紀における文化創造科学技術を開拓するとともに、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者を養成します。

もって、地球環境と共生し、人類社会の発展と平和、福祉の向上に貢献します。この理念に基づき、社会および国際的に開かれた大学院として、学部で設定された教育目標をさらに深めるとともに、以下の能力を涵養し、研究の目標に掲げる諸分野の教育と学術研究の推進によって、高度専門職業人や研究者を養成します。

- ・深い体系的な基礎力
- ・実践的技術力・研究開発能力
- ・高度の専門的知識・能力
- ・広い視野と総合的判断力

本専攻は、さらに、広く社会人および海外からの留学生を積極的に受け入れ、専門的教育研究およびリフレッシュ教育を行います。

【繊維学専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

繊維学専攻では、研究科および繊維学専攻の目的に則り、以下の知識と能力等を充分培い、かつ、分野・ユニットごとに定められた修了判定基準に合う知識と能力等を有する学生に「修士」の学位を授与します。

1. 基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力、さらにそれを発展的に応用できる能力
2. 繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力
3. 専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力
4. 専門分野における深い学識に基づく、卓越した実践的技術力および研究能力

【繊維学専攻の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

繊維学専攻は、総合科学としての繊維科学をより深く学ぶための繊維工学、感性工学、機械ロボット工学、材料化学、繊維生物学などの専門的な知識を習得します。研究科共通科目のMOT特論、産学連携特別講義などを履修することにより、経営・企画に関わるマネジメント能力、国際連携特別講義、繊維基礎科学などを履修することにより情報解析力、情報処理能力などを養います。

さらに、インターンシップ実習を履修することで実践能力を養います。

また、学際的視野を広げるために、修士論文作成や演習、特別実験などを通して、先端的な繊維研究ならびに境界領域の研究に触れ、研究の方法を発展させるとともに、自由な発想と柔軟な創造的能力を身につけます。

1-4 生命医工学専攻

「教育・研究の理念と目標」「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」

【生命医工学専攻の教育・研究の理念と目標】

生命医工学専攻は、医学・工学・繊維学・農学・理学連携により、学部の垣根を越えた実践型研究教育を実施し、異分野の研究者と大学院生が同じテーマで共に学ぶシステム（異分野融合教育・人と場所の流動型教育）を構築し、下記の社会に資する人材を育成します。

- ・稀有の実体験により、産学官連携研究を推進する特殊知識・技能をもつオンリーワン人材
- ・製品開発能力をもつ大学研究者・医学的知識をもつ企業研究者などの人材
- ・知的財産などを含めた産学官連携イノベーションマネジメントの専門人材
- ・レギュラトリーサイエンスの専門人材
- ・国際舞台で活躍する研究者

【生命医工学専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

生命医工学専攻では、研究科および生命医工学専攻の目的に則り、以下の知識と能力等を充分培い、かつ、分野ごとに定められた修了判定基準に合う知識と能力等を有する学生に「修士」の学位を授与します。

1. 健康・福祉・医療・創薬分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観
2. 環境調和社会、知識基盤社会を多様に支える健康・福祉・医療・創薬分野の高度な専門知識と実践的技術力
3. さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力
4. 深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力

【生命医工学専攻の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

生命医工学専攻は、医学・工学・繊維学・農学・理学の学士課程で身につけた基礎的な科学技術の素養に基づき、健康・福祉・医療・創薬分野で活躍する高度専門職業人、研究開発者等に必要とされる高度な専門知識、実践的技術力、並びに情報収集・分析能力、情報発信能力及び批判的思考力を含む研究手法を身につけることを目標としています。これを達成するため、学士課程において未修得である生命医工学を学ぶ上で必要な医学・工学・生物学などの基礎を修得させる科目を用意するとともに、各専門分野の教育を行います。また、実践的教育を充実させるために、学内外の施設を利用したインターンシップを実施します。学位論文の作成を中心に、セミナー、講義、実験・実習・演習などからなるカリキュラムを策定しています。

2-1 総合理工学研究科修士課程 繊維学専攻の学修心得

●修了要件等

次のすべてを満たした場合に修了を認め、学位を授与する。

- ①「修士課程に原則2年以上在学※」
- ②「所定の科目から30単位以上を修得（履修要件の頁を参照）」
- ③「修士学位論文等審査及び最終試験に合格」

※研究科が優れた業績を上げたと認める者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

【学位の種類】

修士（工学）： 先進繊維・感性工学分野、機械・ロボット学分野、化学・材料分野

修士（農学）： 応用生物科学分野

【在学期間】

標準修業年限は2年。又、在学期間は修業年限の2倍を超えることができない。

【進級条件】

1年次から2年次への進級判定はなく、12ヶ月在学（休学・停学期間を除く）すれば進級する。
進級の時期は、4月1日又は10月1日とする。

●履修及び研究計画と方法

学生は、科目の履修及び研究等に係る順序、範囲、総単位数等について、指導教員の指導を受けること。

- (1) 学生は、入学時に指導教員の指導に基づき、2年間の履修及び研究計画を立てると共に**科目の履修及び研究計画書を学務係へ提出**するとともに、定められた期間に**履修登録（キャンパス情報システム）**を行うこと。学年暦、時間割、シラバスの確認や履修登録方法は、別冊「履修案内」を参照すること。又、履修登録が完了したかどうかの確認までが学生の責任であるため、確認・訂正を怠らないこと。
- (2) 1年次における履修単位数は、18～24単位が望ましい。
- (3) 履修計画書の提出後に授業科目を変更する場合は、履修登録確認・訂正期間に変更を届出ること。
- (4) 各年度の4月～5月に研究計画、2月～3月に研究報告を作成して学務係へ提出すること。

●履修要件 ～修了に必要な所定の単位数～

次項からの表1、表2の履修要件表に基づき、30単位以上を修得するものとする。

《繊維学専攻の全分野共通履修要件》

研究科共通科目「研究者倫理特別講義」必修2単位に加え、研究科共通科目「MOT特論」、「産学連携特別講義」、「国際連携特別講義Ⅰ」、「国際連携特別講義Ⅱ」の4科目及び、専攻共通科目「繊維技術士特論」、「繊維系資格概論」の2科目、計6科目のうちから2単位を修得する。計4単位を修得した上で、分野別に履修要件表のとおりそれぞれ26単位以上を修得し、合計30単位以上を修得する。

また、指導教員の研究指導等により、学部の授業科目を聴講させる場合があるが、単位認定はしない。
ただし、教職免許状取得のために履修する場合は、この限りではない。

●単位の認定

履修科目の試験は、学期末等に筆記試験、口頭試問、研究報告等によって行い、その可否は当該授業科目担当教員が決定する。

成績の評語は、秀、優、良、可、不可とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。試験に合格した者には、所定の単位を与える。

●成績評価基準

	評語	評点	評価の基準
合格	秀 (S)	90-100	授業の達成目標から見て卓越している
	優 (A)	80-89	授業の達成目標から見て合格水準のかなり上にある
	良 (B)	70-79	授業の達成目標から見て合格水準のやや上にある
	可 (C)	60-69	授業の達成目標から見て合格水準にある
不合格	不可 (D)	50-59	授業の達成目標から見て合格水準に少し足りない
	不可 (F)	0-49	授業の達成目標から見て合格水準に届いていない

●成績に疑義がある場合

成績開示した日から1週間以内に繊維学部学務係窓口申し出るか、根拠（シラバスの記載と違う評価である等）を持って、授業担当教員に申し出ること。帰省等により窓口に来ることができない場合は、「成績評価確認願」をキャンパス情報システムからダウンロードし、必要事項を記入の上、受付期間中に送付する。

●特例の履修制度

【留学に伴う計画的特例履修制度】

交流協定による交換留学により、標準修業年限内で修了が困難な1年次の学生を対象に、履修期間を最長1年間延ばすことができる制度。（2年次の学生及び長期履修を認められている学生は申請できない。）希望者は事前に制度が適用されるかどうかを学務係へ確認すること。

【長期履修制度】

職業を有している社会人学生を対象とする制度。修学の便宜と授業料の軽減を図るため、2年間の授業料で最長4年間在学することができる。希望者は、原則として入学前の申請を要するが、入学後1年次でも12月末日（10月入学者は6月末日）までは学務係で申請を受け付ける。

●その他

- (1) 授業の出席について・・・学生は、履修する授業の全ての回に出席することを基本とする。授業に出席できない場合の学修の補充については「信州大学における授業の出席に関する要項」に基づき対応する。申出書等の詳細はキャンパス情報システムに掲載。詳細は別冊「履修案内」を参照。
- (2) 出席停止について・・・学生が新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の学校保健安全法施行規則第18条に規定する学校において予防すべき感染症にかかった又はかかった疑いがある場合は、感染症拡大防止のため、「信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項」に基づき、「出席停止」となります。詳細は別冊「履修案内」を参照。

＜＜先進繊維・感性工学分野＞＞

先進繊維工学ユニット、感性工学ユニットの学生は、履修要件表(表1)と所属ユニットの授業科目及び担当教員表(表2)を確認し、合計30単位以上を修得すること。

先進繊維・感性工学分野の履修要件

a : 研究科共通科目「研究者倫理特別講義」必修2単位に加え、研究科共通科目「MOT特論」, 「産学連携特別講義」, 「国際連携特別講義Ⅰ」, 「国際連携特別講義Ⅱ」の4科目及び、専攻共通科目「繊維技術士特論*1」, 「繊維系資格概論*1」の2科目、計6科目のうちから2単位を修得し、合計4単位を修得する。

b : 「a」の4単位を修得した上で、所属ユニットの必修科目12単位、分野共通の必修科目2単位、所属ユニットの選択講義科目10単位に加え、繊維学専攻の全分野の講義科目から2単位以上を修得する。

表1

【履修要件表】

	研究科共通科目		専攻共通科目	小計 (a-1)+(a-2)
	必修	選択	選択	
履修要件 a	研究者倫理 特別講義	MOT特論 産学連携特別講義 国際連携特別講義Ⅰ 国際連携特別講義Ⅱ	繊維技術士特論*1 繊維系資格概論*1	4単位
	2単位	2単位		
	a-1	a-2		

	分野共通科目	ユニット科目		繊維学専攻の全分野の講義科目 *2	小計 (b-1)+(b-2) +(b-3)+(b-4)
	必修	必修	選択 講義科目		
履修要件 b	2単位	12単位	10単位	2単位	26単位
	b-1	b-2	b-3	b-4	

合計	履修要件a + 履修要件b	30単位 以上
----	---------------------	------------

*1受講者多数の場合、人数制限(抽選)を実施することがあります。

*2所属ユニット選択講義科目10単位(b-3)を超えて修得した科目、履修要件内の研究科共通科目と専攻共通科目2単位(a-2)を超えて修得した科目を含む

表1と表2の色分けは対応しています。

表2 【繊維学専攻 先進繊維・感性工学分野 先進繊維工学ユニット 授業科目及び担当教員(2026年度入学生用)】

科目区分	表1 対応	履修登録 コード	授業科目名	単位数 必修	授業 形態 選択	対象学年・学期					担当教員 (非):非常勤講師等	備考	英文授業科目名	教 免 区 分	
						1年[2026年度]		2年[2027年度]							
						前期	後期	通年	前期	後期					通年
		SS107500	大学院と社会	2	講義	○			○		LI MIN	集中・不定期・オンライン	Graduate Education and Society		
		BS108500	臨床医学概論	2	講義	○			○		植村健 他	オンライン	Introduction to Clinical Medicine		
		SS110500	科学技術政策特論	2	講義	○					研究科長 他	オムニバス 隔年開講(2026最終開講) オンライン	Science and Technology Policy		
		TS116500	大学発技術系ベンチャー実践論	2	演習	○			○		杉原 伸宏	オンライン・集中・不定期	Practical theory of Tech Venture at Shinshu University		
研究科共通科目	履修要件外	FS117900	教育臨床特別演習	1	演習				○		荒井 英治郎	集中・不定期 講義・演習;対面・オンライン併用 臨床経験;学外施設	Experience learning for Special Practice	専工	
	a-1	FS109500	研究者倫理特別講義	2	講義	○			○		研究科長 樋笠 知恵 片上 幸美	e-Learning等	Special Course on Research Integrity		
	a-2	FS102500	MOT特論	2	講義				○		○	富川真佐夫(非)	集中	Advanced Management of Technology	
		FS103500	産学連携特別講義	2	講義	○			○			村上泰 他		Special Course on Research & Development of Fiber/Textile Products in Industries	
FS104500		国際連携特別講義 I	1	講義				○			国際交流担当	英語・集中・未定 国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリット; 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること	International Collaboration Lecture I		
FS105500		国際連携特別講義 II	1	講義				○			国際交流担当	英語・集中・未定 国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリット; 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること	International Collaboration Lecture II		
専攻共通科目		FS201500	繊維技術士特論*1	2	講義				○		○	村上泰 他	集中	Topics in Textile Consultants	
		FS204500	繊維系資格概論*1	2	講義				○		○	村上泰 他	集中	Qualification for Textile Business	
分野共通科目	b-4	FSA02500	マーケティング特論	2	講義	○			○			休講	Advanced Theory of Marketing		
	b-1	FSA01500	繊維感性工学特論	2	講義	○						分野長 他	オムニバス	Advanced Textile and Kansei Engineering	
	履修要件外	FSA03500	English Presentation	2	演習	○						近藤 正子(非)		English Presentation	
先進繊維工学ユニット科目	b-3	FSB01500	繊維材料学特論	2	講義	○			○			富澤 鍊	Advanced Fiber Material	専工	
		FSB19500	繊維製品試験法特論	2	講義	○			○			丸 弘樹	Advanced Testing Methods for Textiles	専工	
		FSB06500	先進繊維計測学特論	2	講義	○			○			児山 祥平	Instrumentation and Measurement Engineering for Textile Industry	専工	
		FSB07500	繊維信号解析学特論	2	講義	○			○			金井 博幸	Signal Analysis and Processing for Textile Engineering	専工	
		FSB09500	繊維文化財学特論	2	講義	○			○			金 慶孝	Textile Cultural Assets and their Conservation Science	専工	
		FSB18500	スマートテキスタイル特論	2	講義	○			○			ZHU Chunhong	Advances in Smart textiles	専工	
		FSB20500	繊維成形工学特論	2	講義	○			○			宝田 亘	Advanced fiber process engineering	専工	
	b-2	FSB10500	先進繊維工学演習 I	1	演習	○							ユニット長 他	Seminar on Advanced Textile Engineering I	
		FSB11500	先進繊維工学演習 II	1	演習	○							ユニット長 他	Seminar on Advanced Textile Engineering II	
		FSB12600	先進繊維工学演習 III	1	演習				○				ユニット長 他	Seminar on Advanced Textile Engineering III	
		FSB13600	先進繊維工学演習 IV	1	演習				○				ユニット長 他	Seminar on Advanced Textile Engineering IV	
		FSB14500	先進繊維工学特別実験 I	2	実験	○							ユニット長 他	Experiment in Advanced Textile Engineering I	
		FSB15500	先進繊維工学特別実験 II	2	実験	○							ユニット長 他	Experiment in Advanced Textile Engineering II	
FSB16600		先進繊維工学特別実験 III	2	実験				○				ユニット長 他	Experiment in Advanced Textile Engineering III		
	FSB17600	先進繊維工学特別実験 IV	2	実験				○			ユニット長 他	Experiment in Advanced Textile Engineering IV			
b-4 *2	繊維学専攻の全分野の講義科目				講義										

*1受講者多数の場合、人数制限(抽選)を実施することがあります。
 *2所属ユニット選択講義科目10単位(b-3)を超えて修得した科目、履修要件内の研究科共通科目と専攻共通科目(a-2)を超えて修得した科目を含む

表2 【繊維学専攻 先進繊維・感性工学分野 感性工学ユニット 授業科目及び担当教員（2026年度入学生用）】

科目区分	表1 対応	履修登録 コード	授業科目名	単位数	授 業 形 態	対象学年・学期						担当教員 (非):非常勤講師等	備考	英文授業科目名	教 免 区 分	
						1年〔2026年度〕		2年〔2027年度〕								
						前期	後期	通年	前期	後期	通年					
研究科共通科目		SS107500	大学院と社会	2	講義	○			○			LI MIN	集中・不定期・オンライン	Graduate Education and Society		
		BS108500	臨床医学概論	2	講義		○			○		植村健 他	オンライン	Introduction to Clinical Medicine		
		SS110500	科学技術政策特論	2	講義		○					研究科長 他	オムニバス 隔年開講(2026最終開講) オンライン	Science and Technology Policy		
		TS116500	大学発技術系ベンチャー実践論	2	演習	○				○		杉原 伸宏	オンライン・集中・不定期	Practical theory of Tech Venture at Shinshu University		
	履修要件外	FS117900	教育臨床特別演習	1	演習				○		○	荒井 英治郎	集中・不定期 講義・演習:対面・オンライン併用 臨床経験:学外施設	Experience learning for Special Practice	○	
	a-1	FS109500	研究者倫理特別講義	2	講義	○				○		研究科長 樋笠 知恵 片上 幸美	e-Learning等	Special Course on Research Integrity		
	a-2		FS102500	MOT特論	2	講義				○		○	富川真佐夫(非)	集中	Advanced Management of Technology	
			FS103500	産学連携特別講義	2	講義	○				○		村上 泰 他		Special Course on Research & Development of Fiber/Textile Products in Industries	
			FS104500	国際連携特別講義 I	1	講義				○		○	国際交流担当	英語・集中・未定 国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリッド 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること	International Collaboration Lecture I	
			FS105500	国際連携特別講義 II	1	講義				○		○	国際交流担当	英語・集中・未定 国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリッド 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること	International Collaboration Lecture II	
		FS201500	繊維技術士特論*1	2	講義				○		○	村上 泰 他	集中	Topics in Textile Consultants		
	FS204500	繊維系資格概論*1	2	講義				○		○	村上 泰 他	集中	Qualification for Textile Business			
分野共通科目	b-4	FSA02500	マーケティング特論	2	講義		○			○		休講		Advanced Theory of Marketing		
	b-1	FSA01500	繊維感性工学特論	2	講義	○						分野長 他	オムニバス	Advanced Textile and Kansei Engineering		
	履修要件外	FSA03500	English Presentation	2	演習		○					近藤 正子(非)		English Presentation		
感性工学ユニット科目	b-3	FSC01500	製品生理学特論	2	講義	○					○	吉田 宏昭		Applied Physiology for evaluating consumer products		
		FSC02500	感性計測特論	2	講義		○				○	上條 正義		Advanced Kansei Measurement		
		FSC03500	感性デザイン特論	2	講義	○					○	長尾 幸郎		Advanced Kansei Design		
		FSC09500	感性繊維化学特論	2	講義		○				○	田中 稔久		Advanced Kansei Fiber Chemistry		
		FSC12500	衣服工学特論	2	講義		○				○	金 晃屋		Advanced Clothing Technology		
		FSC21500	身体運動科学特論	2	講義		○					吉武 康栄(非)		Applied Physiology and Kinesiology		
		FSC22500	環境人間工学特論	2	講義	○					○	佐古井 智紀		Environmental Ergonomics		
		FSC23500	衣環境学特論	2	講義		○				○	堀場 洋輔		Advanced Clothing Environmental Science		
	FSC26500	視覚感性工学特論	2	講義	○					○	水科 晴樹		Advanced Visual Kansei Engineering			
	b-2	FSC13500	感性工学演習 I	1	演習	○						ユニット長 他		Advanced Seminar on Kansei Engineering I		
		FSC14500	感性工学演習 II	1	演習		○					ユニット長 他		Advanced Seminar on Kansei Engineering II		
		FSC15600	感性工学演習 III	1	演習					○		ユニット長 他		Advanced Seminar on Kansei Engineering III		
		FSC16600	感性工学演習 IV	1	演習						○	ユニット長 他		Advanced Seminar on Kansei Engineering IV		
		FSC17500	感性工学特別実験 I	2	実験	○						ユニット長 他		Advanced Experiment in Kansei Engineering I		
		FSC18500	感性工学特別実験 II	2	実験		○					ユニット長 他		Advanced Experiment in Kansei Engineering II		
FSC19600		感性工学特別実験 III	2	実験					○		ユニット長 他		Advanced Experiment in Kansei Engineering III			
履修要件外	FSC20600	感性工学特別実験 IV	2	実験						○	ユニット長 他		Advanced Experiment in Kansei Engineering IV			
	FSC24500	インターンシップ実習	1	実習					○		○	ユニット長 他	Internship Training			
FSC25500	2							○		○						
b-4 *2	繊維学専攻の全分野の講義科目				講義											

2年次の担当教員等は変更する場合があります。 *1受講者多数の場合、人数制限(抽選)を実施することがあります。
*2所属ユニット選択講義科目10単位(b-3)を超えて修得した科目。履修要件内の研究科共通科目と専攻共通科目(a-2)を超えて修得した科目を含む

◀機械・ロボット学分野▶

機械・ロボット学分野の学生は、履修要件表（表1）と機械・ロボット学分野の授業科目及び担当教員表（表2）を確認し、合計30単位以上を修得すること。

機械・ロボット学分野の履修要件

a：研究科共通科目「研究者倫理特別講義」必修2単位に加え、研究科共通科目「MOT特論」，「産学連携特別講義」，「国際連携特別講義Ⅰ」，「国際連携特別講義Ⅱ」の4科目及び、専攻共通科目「繊維技術士特論*1」，「繊維系資格概論*1」の2科目，計6科目のうちから2単位を修得し，合計4単位を修得する。

b：「a」の4単位を修得した上で，機械・ロボット学分野の必修科目12単位，分野の選択講義科目10単位，繊維学専攻の全分野の講義科目から4単位以上を修得する。

表1

【履修要件表】

	研究科共通科目		専攻共通科目	小計 (a-1)+(a-2)
	必修	選択	選択	
履修要件 a	研究者倫理特別講義	MOT特論 産学連携特別講義 国際連携特別講義Ⅰ 国際連携特別講義Ⅱ	繊維技術士特論*1 繊維系資格概論*1	4単位
	2単位	2単位		
	a-1	a-2		

	分野科目		繊維学専攻の全分野の講義科目 *2	小計 (b-1)+(b-2) +(b-3)
	必修	選択講義科目		
履修要件 b	12単位	10単位	4単位	26単位
	b-1	b-2	b-3	

合計	履修要件a + 履修要件b	30単位 以上
----	------------------------------	--------------------

*1受講者多数の場合，人数制限（抽選）を実施することがあります。

*2分野選択講義科目10単位（b-2）を超えて修得した科目，履修要件内の研究科共通科目と専攻共通科目2単位（a-2）を超えて修得した科目を含む

表1と表2の色分けは対応しています。

表2 【繊維学専攻 機械・ロボット学分野 授業科目及び担当教員（2026年度入学生用）】

科目区分	表1 対応	履修登録 コード	授業科目名	単位数		授業 形態	対象学年・学期						担当教員 (非):非常勤講師等	備考	英文授業科目名	教免 区分	
				必修	選択		1年(2026年度)			2年(2027年度)							
							前期	後期	通年	前期	後期	通年					
研究科 共通科目		SS107500	大学院と社会		2	講義	○			○			LI MIN	集中・不定期・オンライン	Graduate Education and Society		
		BS108500	臨床医学概論		2	講義		○			○		植村 健 他	オンライン	Introduction to Clinical Medicine		
		SS110500	科学技術政策特論		2	講義		○					研究科長 他	オムニバス 隔年開講(2026最終開講) オンライン	Science and Technology Policy		
		TS116500	大学発技術系ベンチャー実践論		2	演習	○				○		杉原 伸宏	オンライン・集中・不定期	Practical theory of Tech Venture at Shinshu University		
	履修 要件外	FS117900	教育臨床特別演習		1	演習				○		○	荒井 英治郎	集中・不定期 講義・演習:対面・オンライン併用 臨床経験:学外施設	Experience learning for Special Practice	専工	
	a-1	FS109500	研究者倫理特別講義	2	講義	○				○			研究科長 樋笠 知恵 片上 幸美	e-Learning等	Special Course on Research Integrity		
	a-2	FS102500	MOT特論	2	講義					○		○	富川真佐夫(非)	集中	Advanced Management of Technology		
		FS103500	産学連携特別講義	2	講義	○				○			村上 泰 他		Special Course on Research & Development of Fiber/Textile Products in Industries		
		FS104500	国際連携特別講義 I	1	講義					○		○	国際交流担当	英語・集中・不定 国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリッド 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること	International Collaboration Lecture I		
		FS105500	国際連携特別講義 II	1	講義					○		○	国際交流担当	英語・集中・不定 国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリッド 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること	International Collaboration Lecture II		
専攻 共通科目		FS201500	繊維技術士特論*1	2	講義						○	村上 泰 他	集中	Topics in Textile Consultants			
		FS204500	繊維系資格概論*1	2	講義						○	村上 泰 他	集中	Qualification for Textile Business			
機械・ ロボット学 分野科目	b-2	FSD01500	ナノ融合材料学特論	2	講義					○		○	金 翼水		Material Science and Nano Fusion Technology	専工	
		FSD02500	複合材料力学特論	2	講義					○		○	鮑 力民		Advanced Mechanics of Composite Materials	専工	
		FSD04500	振動解析学特論	2	講義	○					○		夏木 俊明		Vibration Analysis of Mechanical Systems	専工	
		FSD21500	熱流体工学特論	2	講義	○					○		若月 薫		Thermal and Fluid Engineering	専工	
		FSD08500	ロボット工学特論	2	講義	○					○		河村 隆		Advanced Robotics	専工	
		FSD10500	非線形制御特論	2	講義						○		休講		Nonlinear Systems and Control		
		FSD23500	電子デバイス材料学特論	2	講義						○		渡辺 健太郎		Advanced Electronic Materials		
		FSD24500	安全工学特論	2	講義	○					○		秋山 靖博		Advanced Safety Engineering	専工	
	FSD25500	サステナブル工学特論	2	講義						○		○	施 建		Advanced Sustainable Engineering	専工	
	b-1	FSD11500	機械・ロボット学演習 I	1	演習	○								分野長 他		Seminar on Mechanical Engineering and Robotics I	
		FSD12500	機械・ロボット学演習 II	1	演習					○				分野長 他		Seminar on Mechanical Engineering and Robotics II	
		FSD13600	機械・ロボット学演習 III	1	演習						○			分野長 他		Seminar on Mechanical Engineering and Robotics III	
		FSD14600	機械・ロボット学演習 IV	1	演習							○		分野長 他		Seminar on Mechanical Engineering and Robotics IV	
		FSD15500	機械・ロボット学特別実験 I	2	実験	○								分野長 他		Advanced Experiments on Mechanical Engineering and Robotics I	
		FSD16500	機械・ロボット学特別実験 II	2	実験						○			分野長 他		Advanced Experiments on Mechanical Engineering and Robotics II	
FSD17600		機械・ロボット学特別実験 III	2	実験							○		分野長 他		Advanced Experiments on Mechanical Engineering and Robotics III		
FSD18600		機械・ロボット学特別実験 IV	2	実験								○	分野長 他		Advanced Experiments on Mechanical Engineering and Robotics IV		
履修 要件外	FSD19500	インターンシップ実習	1	実習						○		○	分野長		Internship Training		
FSD20500	2									○	○						
b-3 *2		繊維学専攻の全分野の講義科目		講義													

2年次の担当教員等は変更する場合があります。 *1受講者多数の場合、人数制限(抽選)を実施することがあります。
*2分野選択講義科目10単位(b-2)を超えて修得した科目、履修要件内の研究科共通科目と専攻共通科目2単位(a-2)を超えて修得した科目を含む

化学・材料分野の学生は、履修要件表(表1)と化学・材料分野の授業科目及び担当教員表(表2)を確認し、合計30単位以上を修得すること。

化学・材料分野の履修要件

a：研究科共通科目「研究者倫理特別講義」必修2単位に加え、研究科共通科目「MOT特論」，「産学連携特別講義」，「国際連携特別講義Ⅰ」，「国際連携特別講義Ⅱ」の4科目及び、専攻共通科目「繊維技術士特論*1」，「繊維系資格概論*1」の2科目、計6科目のうちから2単位を修得し、合計4単位を修得する。

b：「a」の4単位を修得した上で、化学・材料分野共通の必修科目12単位、化学・材料分野の選択講義科目12単位、繊維学専攻の全分野の講義科目から2単位以上を修得する。

表1

【履修要件表】

	研究科共通科目		専攻共通科目	小計 (a-1)+(a-2)
	必修	選択	選択	
履修要件 a	研究者倫理 特別講義	MOT特論 産学連携特別講義 国際連携特別講義Ⅰ 国際連携特別講義Ⅱ	繊維技術士特論*1 繊維系資格概論*1	4単位
	2単位	2単位		
	a-1	a-2		
履修要件 b	分野科目		繊維学専攻の全分野の講義科目 *2	小計 (b-1)+(b-2) +(b-3)
	必修	選択 講義科目		
	12単位	12単位	2単位	26単位
	b-1	b-2	b-3	
合計	履修要件a + 履修要件b			30単位 以上

*1受講者多数の場合、人数制限（抽選）を実施することがあります。

*2分野選択講義科目12単位（b-2）を超えて修得した科目、履修要件内の研究科共通科目と専攻共通科目2単位（a-2）を超えて修得した科目を含む

表1と表2の色分けは対応しています。

表2 【繊維学専攻 化学・材料分野 授業科目及び担当教員（2026年度入学生用）】

科目区分	表1 対応	履修登録 コード	授業科目名	単位数 必修	選択 形態	授業 形態	対象学年・学期						担当教員 (非):非常勤講師等	備考	英文授業科目名	教 免 区 分
							1年(2026年度)			2年(2027年度)						
							前期	後期	通年	前期	後期	通年				
研究科 共通科目		SS107500	大学院と社会	2	講義	○			○			LI MIN	集中・不定期・オンライン	Graduate Education and Society		
		BS108500	臨床医学概論	2	講義		○			○		植村健 他	オンライン	Introduction to Clinical Medicine		
		SS110500	科学技術政策特論	2	講義		○					研究科長 他	オムニバス 隔年開講(2026最終開講) オンライン	Science and Technology Policy		
		TS116500	大学発技術系ベンチャー実践論	2	演習	○			○			杉原 伸宏	オンライン・集中・不定期	Practical theory of Tech Venture at Shinshu University		
	履修 要件外	FS117900	教育臨床特別演習	1	演習				○			○	荒井 英治郎	集中・不定期 講義・演習:対面・オンライン併用 臨床経験:学外施設	Experience learning for Special Practice	専理
	a-1	FS109500	研究者倫理特別講義	2	講義	○			○			研究科長、種笠 知恵、 片上 幸美	e-Learning等	Special Course on Research Integrity		
	a-2	FS102500	MOT特論	2	講義				○			○	富川真佐夫(非)	集中	Advanced Management of Technology	
		FS103500	産学連携特別講義	2	講義	○				○			村上 泰 他		Special Course on Research & Development of Fiber/Textile Products in Industries	
		FS104500	国際連携特別講義 I	1	講義				○			○	国際交流担当	英語・集中・不定 国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリッド 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること	International Collaboration Lecture I	
		FS105500	国際連携特別講義 II	1	講義				○			○	国際交流担当	英語・集中・不定 国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリッド 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること	International Collaboration Lecture II	
		FS201500	繊維技術士特論*1	2	講義				○			○	村上 泰 他	集中	Topics in Textile Consultants	
		FS204500	繊維系資格概論*1	2	講義				○			○	村上 泰 他	集中	Qualification for Textile Business	
専攻 共通科目	b-1	FSE01500	化学・材料演習 I	1	演習	○						分野長 他		Seminar on Chemistry and Materials I		
		FSE02500	化学・材料演習 II	1	演習		○					分野長 他		Seminar on Chemistry and Materials II		
		FSE03600	化学・材料演習 III	1	演習				○			分野長 他		Seminar on Chemistry and Materials III		
		FSE04600	化学・材料演習 IV	1	演習					○		分野長 他		Seminar on Chemistry and Materials IV		
		FSE05500	化学・材料特別実験 I	2	実験	○						分野長 他		Experiment in Advanced Chemistry and Materials I		
		FSE06500	化学・材料特別実験 II	2	実験		○					分野長 他		Experiment in Advanced Chemistry and Materials II		
		FSE07600	化学・材料特別実験 III	2	実験				○			分野長 他		Experiment in Advanced Chemistry and Materials III		
		FSE08600	化学・材料特別実験 IV	2	実験					○		分野長 他		Experiment in Advanced Chemistry and Materials IV		
分野 共通科目	b-2	FSE10500	反応化学特論 I	1	講義	○			○			浅尾直樹	有機化学基礎	Advanced Organic Reaction Chemistry I	専理	
		FSE11500	反応化学特論 II	1	講義	○			○			西井 良典	有機化学基礎	Advanced Organic Reaction Chemistry II	専理	
		FSE12500	分子化学特論 I	1	講義	○			○			市川 結	分子機能創成P関連	Advanced Molecular Chemistry I	専理	
		FSE13500	分子化学特論 II	1	講義	○			○			新堀佳紀	分子機能創成P関連	Advanced Molecular Chemistry II	専理	
		FSE14500	構造化学特論 I	2	講義	○			○			西村 智貴、佐藤 高彰、森 正悟	物理化学基礎	Advanced Structural Chemistry I	専理	
		FSE15500	構造化学特論 II	1	講義	○			○			木村 睦	無機化学基礎	Advanced Structural Chemistry II	専理	
		FSE16500	構造化学特論 III	1	講義	○			○			服部 義之	無機材料化学(分子機能+マテリアル)	Advanced Structural Chemistry III	専理	
		FSE17500	構造化学特論 IV	1	講義	○			○			主:亀山達矢、副:杉本 涉	無機材料化学(分子機能+マテリアル)	Advanced Structural Chemistry IV	専理	
		FSE18500	構造化学特論 V	1	講義	○			○			小嶋 隆幸、佐野 航季	無機材料化学(分子機能+マテリアル)	Advanced Structural Chemistry V	専理	
		FSE19500	機能化学特論 I	1	講義	○			○			宇佐美 久尚	マテリアル創成P関連	Advanced Functional Chemistry I	専理	
		FSE20500	機能化学特論 II	1	講義	○			○			平田 雄一	マテリアル創成P関連	Advanced Functional Chemistry II	専理	
		FSE21500	機能化学特論 III	1	講義	○			○			寺本 彰	生命科学P関連	Advanced Functional Chemistry III	専理	
		FSE22500	機能化学特論 IV	1	講義	○			○			大川 浩作	生命科学P関連	Advanced Functional Chemistry IV	専理	
		FSE23500	機能化学特論 V	1	講義	○			○			村井 一喜	高分子科学P関連	Advanced Functional Chemistry V	専理	
		FSE24500	機能化学特論 VI	1	講義	○			○			荒木 潤	高分子科学P関連	Advanced Functional Chemistry VI	専理	
		FSE25500	高分子学特論 I	1	講義	○			○			鈴木正浩	高分子科学P関連	Advanced Polymer Science I	専理	
		FSE26500	高分子学特論 II	1	講義	○			○			渡辺真志	高分子科学P関連	Advanced Polymer Science II	専理	
		FSE27500	高分子学特論 III	1	講義	○			○			後藤 康夫	高分子科学P関連	Advanced Polymer Science III	専理	
		FSE28500	高分子学特論 IV	1	講義	○			○			休講	高分子科学P関連	Advanced Polymer Science IV	専理	
		FSE29500	化学工学特論 I	1	講義	○			○			嶋田 五百里、高橋 伸英	化学工学基礎	Advanced Chemical Engineering I	専理	
		FSE30500	化学工学特論 II	1	講義	○			○			高橋 伸英、長田 光正	環境化学工学P関連	Advanced Chemical Engineering II	専理	
		FSE31500	化学工学特論 III	1	講義	○			○			長田光正、嶋田 五百里	環境化学工学P関連	Advanced Chemical Engineering III	専理	
FSE32500	化学工学特論 IV	1	講義	○			○			福長 博	環境化学工学P関連	Advanced Chemical Engineering IV	専理			
b-3 *2		繊維学専攻の全分野の講義科目		講義												

2年次の担当教員等は変更する場合があります。
*1受講者多数の場合、人数制限(抽選)を実施することがあります。
*2分野選択講義科目12単位(b-2)を超えて修得した科目、履修要件内の研究科共通科目と専攻共通科目2単位(a-2)を超えて修得した科目を含む

◀◀応用生物科学分野▶▶

応用生物科学分野の学生は、履修要件表（表1）と応用生物科学分野の授業科目及び担当教員表（表2）を確認し、合計30単位以上を修得すること。

応用生物科学分野の履修要件

a：研究科共通科目「研究者倫理特別講義」必修2単位に加え、研究科共通科目「MOT特論」、「産学連携特別講義」、「国際連携特別講義Ⅰ」、「国際連携特別講義Ⅱ」の4科目及び、専攻共通科目「繊維技術士特論*1」、「繊維系資格概論*1」の2科目、計6科目のうちから2単位を修得し、合計4単位を修得する。表1と表2の色分けは対応しています。

b：「a」の4単位を修得した上で、応用生物科学分野の必修科目12単位、分野の選択講義科目12単位及び、繊維学専攻の全分野の講義科目から2単位以上を修得する。

表1

【履修要件表】

	研究科共通科目		専攻共通科目	小計 (a-1)+(a-2)
	必修	選択	選択	
履修要件 a	研究者倫理特別講義	MOT特論 産学連携特別講義 国際連携特別講義Ⅰ 国際連携特別講義Ⅱ	繊維技術士特論*1 繊維系資格概論*1	4単位
	2単位	2単位		
	a-1	a-2		

	分野科目		繊維学専攻の全分野の講義科目*2	小計 (b-1)+(b-2) +(b-3)
	必修	選択講義科目		
履修要件 b	12単位	12単位	2単位	26単位
	b-1	b-2	b-3	

合計	履修要件a + 履修要件b	30単位 以上
----	---------------------	------------

*1受講者多数の場合、人数制限（抽選）を実施することがあります。

*2分野選択講義科目12単位（b-2）を超えて修得した科目、履修要件内の研究科共通科目と専攻共通科目2単位（a-2）を超えて修得した科目を含む

表1と表2の色分けは対応しています。

表2 【繊維学専攻 応用生物科学分野 授業科目及び担当教員（2026年度入学生用）】

科目区分	表1 対応	履修登録 コード	授業科目名	単位数		授業 形態	対象学年・学期						担当教員 (非):非常勤講師等	備考	英文授業科目名	教 免 区 分		
				必 修	選 択		1年(2026年度)			2年(2027年度)								
							前期	後期	通年	前期	後期	通年						
研究科共通科目		SS107500	大学院と社会		2	講義	○				○			LI MIN	集中・不定期・オンライン	Graduate Education and Society		
		BS108500	臨床医学概論		2	講義		○				○		植村健 他	オンライン	Introduction to Clinical Medicine		
		SS110500	科学技術政策特論		2	講義			○					研究科長 他	オムニバス 隔年開講(2026最終開講) オンライン	Science and Technology Policy		
		TS116500	大学発技術系ベンチャー実践論		2	演習	○					○		杉原 伸宏	オンライン・集中・不定期	Practical theory of Tech Venture at Shinshu University		
	履修 要件外	FS117900	教育臨床特別演習		1	演習					○			荒井 英治郎	集中・不定期 講義・演習:対面・オンライン併用 臨床経験:学外施設	Experience learning for Special Practice	専理	
	a-1	FS109500	研究者倫理特別講義	2	講義	○						○		研究科長 樋笠 知恵 片上 幸美	e-Learning等	Special Course on Research Integrity		
	a-2		FS102500	MOT特論		2	講義					○			富川真佐夫(非)	集中	Advanced Management of Technology	
			FS103500	産学連携特別講義		2	講義	○					○		村上 泰 他		Special Course on Research & Development of Fiber/Textile Products in Industries	
			FS104500	国際連携特別講義 I		1	講義						○		国際交流担当	英語・集中・未定 国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリッド 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること	International Collaboration Lecture I	
			FS105500	国際連携特別講義 II		1	講義						○		国際交流担当	英語・集中・未定 国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリッド 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること	International Collaboration Lecture II	
		FS201500	繊維技術士特論 ^{*1}		2	講義						○		村上 泰 他	集中	Topics in Textile Consultants		
		FS204500	繊維系資格概論 ^{*1}		2	講義						○		村上 泰 他	集中	Qualification for Textile Business		
応用生物科学分野科目	b-1	FSJ27500	応用生物科学演習 I		1	演習	○							分野長 他		Seminar on Applied Biology I		
		FSJ28500	応用生物科学演習 II		1	演習		○							分野長 他		Seminar on Applied Biology II	
		FSJ29600	応用生物科学演習 III		1	演習						○			分野長 他		Seminar on Applied Biology III	
		FSJ30600	応用生物科学演習 IV		1	演習							○		分野長 他		Seminar on Applied Biology IV	
		FSJ31500	応用生物科学特別研究 I		2	実験	○								分野長 他		Advanced Experiments in Applied Biology I	
		FSJ32500	応用生物科学特別研究 II		2	実験		○							分野長 他		Advanced Experiments in Applied Biology II	
		FSJ33600	応用生物科学特別研究 III		2	実験							○		分野長 他		Advanced Experiments in Applied Biology III	
		FSJ34600	応用生物科学特別研究 IV		2	実験								○	分野長 他		Advanced Experiments in Applied Biology IV	
	b-2		FSJ37500	応用生態学特論		2	講義		○						平林 公男	集中	Topics in Applied Ecology	専理
			FSJ03500	保全環境学特論		2	講義	○							森脇 洋		Topics in Environment Conservation	専理
			FSJ04500	農産製造学特論		2	講義	○							堀江 智明		Topics in Production of Agricultural Products	
			FSJ05500	資源微生物学特論		2	講義	○							山本 博規	集中	Topics in Resource Microbiology	
			FSJ06500	応用微生物学特論		2	講義		○						小笠原 寛	集中	Topics in Applied Microbiology	専理
			FSJ07500	応用昆虫学特論		2	講義	○							白井 孝治	集中	Topics in Applied Entomology	
			FSJ08500	発生生物学特論		2	講義	○							塩見 邦博	集中	Topics in Developmental Biology	専理
			FSJ38500	蛋白質工学特論		2	講義	○							新井 亮一		Topics in Protein Engineering	専理
			FSJ11500	家畜生産学特論		2	講義		○						保地 眞一	集中	Topics in Animal Production	
			FSJ15500	植物工学特論		2	講義	○							田口 悟朗		Topics in Plant Biotechnology	
			FSJ16500	細胞生物学特論		2	講義	○							野村 隆臣	集中	Topics in Cell Biology	専理
			FSJ17500	シルク加工利用学特論		2	講義		○						橋本 朋子		Topics in Silk Processing	
	FSJ18500	分子育種学特論 I		1	講義	○							野川 優洋		Topics in Molecular Breeding I			
	FSJ19500	分子育種学特論 II		1	講義	○							野川 優洋		Topics in Molecular Breeding II			
	FSJ20500	生体材料学特論		2	講義		○						根岸 淳		Topics in Biomaterial			
	FSJ21500	育種工学特論		2	講義	○							林田 信明		Topics in Plant Breeding Technology			
	FSJ22500	ゲノム機能工学特論		2	講義	○							松村 英生	集中	Topics in Functional Genomics	専理		
	FSJ39500	生殖生物学特論		2	講義								○	高島 誠司	集中	Topics in reproductive medicine and biology		
	FSJ40500	繊維状蛋白質特論		2	講義		○						○	矢澤 健二郎	集中	Topics in Fibrous Protein		
	FSJ41500	応用生物科学特論		2	講義								○	矢澤 健二郎 他	集中	Topics in Applied Biology		
	FSJ42500	蚕利用学特論		2	講義		○						○	李 允求	集中	Topics in Silkworm Applied Biology and Technology		
履修 要件外	FSJ35500	インターンシップ実習		1	実習								○	分野長		Internship Training		
	FSJ36500			2									○					
b-3 *2		繊維学専攻の全分野の講義科目			講義													

2年次の担当教員等は変更する場合があります。 *1受講者多数の場合、人数制限(抽選)を実施することがあります。
*2分野選択講義科目10単位(b-2)を超えて修得した科目、履修要件内の研究科共通科目と専攻共通科目2単位(a-2)を超えて修得した科目を含む

2-2 総合理工学研究科修士課程 生命医工学専攻の修了要件と履修方法について

1. 修了要件

修士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士課程の目的に応じ、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することです。

ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認めた場合には、修士課程に1年以上在学すれば足りるものとなっています。

2. 履修方法

生命医工学専攻では、以下のとおりです。履修計画は指導教員の先生と良く相談したうえで、立てるようにしてください。

【生命工学分野】

講義 6 単位（研究科共通科目及び専攻共通科目の必修科目 4 単位，生命工学分野の必修科目 2 単位を含む），演習 4 単位（生命工学分野の必修科目），特別実験 8 単位（生命工学分野の必修科目）を含む計 30 単位以上を修得する。

【生体医工学分野】

- (1) 講義 8 単位（研究科共通科目及び専攻共通科目の必修科目 4 単位，生体医工学分野の必修科目 2 単位と選択科目 2 単位以上を含む），演習 4 単位（生体医工学分野の必修科目），特別実験 8 単位（生体医工学分野の必修科目）を含む計 30 単位以上を修得する。
- (2) 研究テーマに関する学外研究発表活動を行う。ただし、特別な事情がある場合は、別に評価する。

＜修了に必要な単位等＞

分野	講義	演習	実験	実習	合計	その他
生命工学分野	必修 6 単位	必修 4 単位	必修 8 単位	—	30 単位 以上	—
	自由単位 12 単位以上					
生体医工学分野	必修・選 択必修 8 単位	必修 4 単位	必修 8 単位	—	30 単位 以上	研究テーマに関する学外研究発表活動を行う
	自由単位 10 単位以上					

- 講義科目の履修に当たって、自分の所属分野の選択科目から8単位以上、修得することが望ましい。
- 「工学基礎」「生物学基礎」について
両科目は異分野融合である生命医工学を学ぶ上で必要な基礎的内容を学ぶ科目です。
「工学基礎」は、生命医工学に関する研究を行う上で必要な情報科学の基礎を、「生物学基礎」は、学士課程までで学んでこなかった学生に生物学の基礎を身に付けてもらうための科目です。学士課程までの学習歴を踏まえて、指導教員と相談の上、履修をしてください。

2026年度 総合理工学研究科生命医工学専攻 開講科目一覧

科目区分	履修登録コード	授業科目の名称	配当年次	開講期	曜日・時限	単位数			授業形態				担当教員	教職課程認定科目	備考
						必修	選択	自由	講義	演習	実験	実習			
研究科共通科目	FS102500	MOT特論	1・2	通年	集中	2			○				富川真佐夫		上田キャンパス開講・夏季集中予定
	FS103500	産学連携特別講義	1・2	通年	金・3	2			○				村上泰 他		上田キャンパス以外の学生は、Zoom受講
	FS104500	国際連携特別講義I	1・2	通年	集中	2			○				国際交流担当		国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリッド 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること
	FS105500	国際連携特別講義II	1・2	通年	集中	2			○				国際交流担当		国外の繊維系研究者による講義 対面と同期Zoom配信のハイブリッド 履修希望者は繊維学部学務Gへ連絡すること
	BS107500	大学院と社会	1・2	前期	集中・不定期	2			○				LI MIN		オンライン
	BS108500	臨床医学概論	1・2	後期	金・4	2			○				植村健 他		オンライン
	BS109500	研究者倫理特別講義	1・2	前期	集中・不定期	2			○				研究科長 樋笠 知恵 片上 幸美		オンラインe-Learning
	BS110500	科学技術政策特論	1・2	後期	後期(前半) 木・3-4	2			○				研究科長 他		オムニバス 隔年開講(2026最終開講) オンライン(一部対面)
	TS116500	大学発技術系ベンチャー実践論	1・2	前期	集中・不定期	2	2			○			杉原 伸宏		オンライン・集中
BS117900	教育臨床特別演習	1・2	通年	集中・不定期			1		○			荒井 英治郎	○	教職科目のため修了要件外 講義・演習・対面・オンライン併用 臨床経験・学外施設	
専攻共通科目	基礎科目	BS201500	医療倫理学・社会医工学	1・2	前期	集中・不定期	2			○			植村, 杉原, 森, 山浦		遠隔開講認定
		BS202500	工学基礎	1	前期	金・4	2			○			阿部		遠隔開講認定
		BS203500	生物学基礎	1	前期	火・1	2			○			羽二生	○	遠隔開講認定
	応用科目	BS272502	行政・企業インターンシップ研修	1・2	不定期	集中・不定期	2					○	学生・教務委員長		
		BS272501	行政・企業インターンシップ研修	1・2	不定期	集中・不定期	6					○	学生・教務委員長		
生命工学分野	BSB01500	生命工学特論	1	前期	水・1	2			○			小西, 鏡味, 保坂, 水野, 伊原, 米倉, 富岡, 阿部, 入枝, 梅澤, 諸白	○	オムニバス 遠隔開講認定	
	BSB02500	先進応用生命科学特論	1・2	後期(前半)	火・1, 2	2			○			鏡味, 保坂, 米倉, 諸白	○	オムニバス 遠隔開講認定	
	BSB03500	生命情報科学特論	1・2	前期(前半)	木・1, 2	2			○			小西, 伊原, 富岡, 入枝, 梅澤	○	オムニバス 遠隔開講認定	
	BSB04500	先進生命化学特論	1・2	前期	月・1	2			○			水野	○	共同 遠隔開講認定	
	BSB51500	学外特別講義A	1・2	不定期	集中・不定期	2			○			学生・教務委員長			
	BSB52500	学外特別講義B	1・2	不定期	集中・不定期	2			○			学生・教務委員長			
	BSB815**	生命工学演習 I	1	通年	不定期	2				○			研究指導教員		
	BSB825**	生命工学演習 II	2	通年	不定期	2				○			研究指導教員		
	BSB915**	生命工学特別実験 I	1	通年	不定期	4					○		研究指導教員		
	BSB925**	生命工学特別実験 II	2	通年	不定期	4					○		研究指導教員		
	生体医工学分野	BSD01500	生体医工学特論	1	前期	水・2	2			○			小林(俊), 杉本, 山口, 秋山, 小関, 羽二生, 森山, 中樞, 竹内, 照月, 岩本, 植村, 田原, 小林(美)	○	遠隔開講認定
BSD04500		生体流体力学特論	1・2	後期	金・2	2			○			小林(俊)	○	遠隔開講認定	
BSD05500		生体マイクロデバイス特論	1・2	前期	金・1	2			○			秋山	○	遠隔開講認定	
BSD06500		生体情報システム学特論	1・2	後期	水・2	2			○			小関	○	遠隔開講認定	
BSD08500		動物行動学特論	1・2	後期	水・3	2			○			森山	○	遠隔開講認定	
BSD09500		生体材料学特論	1・2	前期	火・2	2			○			竹内	○	遠隔開講認定	
BSD10500		バイオメカニクス特論	1・2	前期	集中	2			○			杉本	○	遠隔開講認定	
BSD11500		生体応答学特論	1・2	後期	金・1	2			○			羽二生, 植村	○	遠隔開講認定	
BSD12500		生体計測学特論	1・2	後期	木・2	2			○			山口	○	遠隔開講認定	
BSD13500		組織工学特論	1・2	後期	金・3	2			○			中樞	○	遠隔開講認定	
BSD14500		ロボット制御学特論	1・2	後期	火・4	2			○			岩本	○	遠隔開講認定	
BSD16500		生体電子工学特論	1・2	後期	水・4	2			○			田原	○	遠隔開講認定	
BSD17500		バイオハイブリッドロボティクス特論	1・2	後期	月・4	2			○			照月	○	遠隔開講認定	
BSD18500		生体情報デザイン・可視化特論	1・2	後期	木・4	2			○			小林(美)	○	遠隔開講認定	
BSD51500		学外特別講義A	1・2	不定期	集中・不定期	2			○			学生・教務委員長			
BSD52500		学外特別講義B	1・2	不定期	集中・不定期	2			○			学生・教務委員長			
BSD815**		生体工学演習 I	1	通年	不定期	2				○			研究指導教員		
BSD825**		生体工学演習 II	2	通年	不定期	2				○			研究指導教員		
BSD915**		生体工学特別実験 I	1	通年	不定期	4					○		研究指導教員		
BSD925**	生体工学特別実験 II	2	通年	不定期	4					○		研究指導教員			

※ 生体医工学分野 演習 I、II 特別実験 I、II 履修登録コード下2桁の内訳

63 小林俊一	67 秋山佳文	72 竹内あかり	77 植村 健
64 齋藤直人	68 小関道彦	74 中樞浩康	78 田原 祐助
65 杉本光公	70 羽二生久夫	75 岩本憲泰	79 照月 大悟
66 山口昌樹			

先進繊維・感性工学分野の履修プロセス概念図

工学の基礎を理解したうえで、繊維工学および感性工学に関する高度な専門知識に基づいて問題を分析し解決する能力を持つ人材

修士(工学) 学位授与

最終試験の合格

修士論文の保管
附属図書館
・質の保証

30単位以上を修得

講義科目 18単位以上
(研究科共通必修科目2単位)
(研究科または専攻共通選択必修科目2単位)
(分野共通必修科目2単位)
(所属ユニット科目10単位)

先進繊維工学
ユニットの科目群

感性工学
ユニットの科目群

先進繊維・感性工学分野の
専門的知識・能力

・繊維感性工学特論
(必修)

分野共通科目

・マーケティング特論
・English Presentation(履修要件外)

融合領域の専門的知識

・繊維技術士特論
・繊維系資格概論

専攻共通科目

環境調和社会・
知識基盤社会
を支える素養

グローバルな
情報発信能力
経営・経済の
専門的知識

・MOT特論
・産学連携特別講義
・国際連携特別講義

研究科共通科目

・研究者倫理特別講義
(必修)

eAPRINIによる
研究行動
規範教育

演習4単位(必修)
特別実験8単位(必修)

研究手法の修得・論文執筆
複数教員による指導

研究分野の 科学・技術発展
専門的知識 の見解・倫理観

思考や妥当性の
説明・議論能力 研究・開発能力

情報収集・
分析能力

情報発信
能力

研究進捗状況に関する
中間発表会

研究課題の決定

・質の担保
早期から計画的な研究指導

指導教員の決定

・組織的な教育研究体制
・質の担保
複数研究分野教員に
よる補助指導

論文審査

論文発表会

・透明な審査体制
公開による開催

学位論文提出

審査委員の決定

・透明な審査体制
主査1名、副査2名以上

論文題目決定

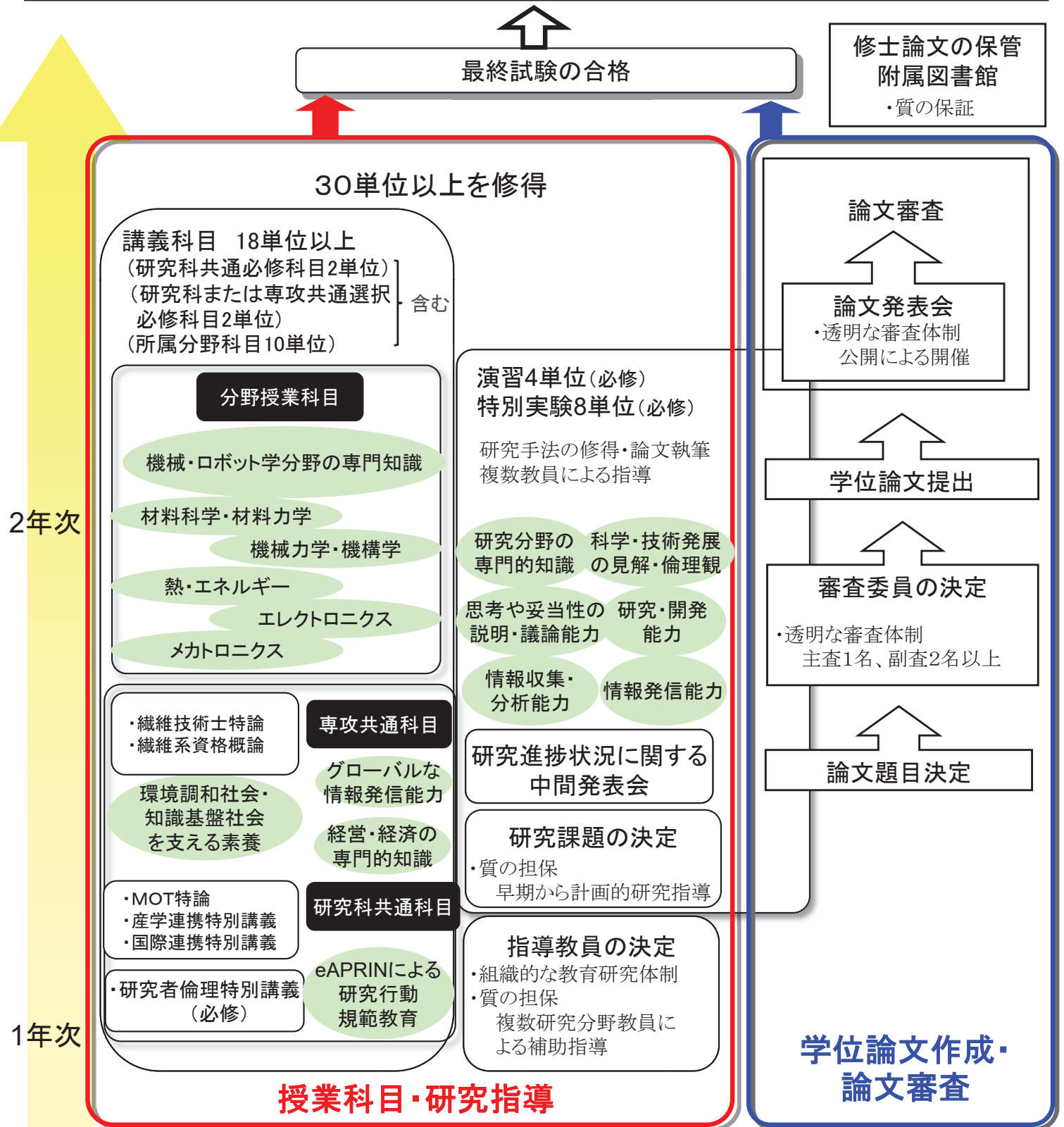
学位論文作成・
論文審査

授業科目・研究指導

1. 大学等において能動的に学び、十分な基礎学力と緻密な思考力を身に付けている人
2. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲を持って取り組む人
3. 世界をリードする先進的科学・技術を担う研究者、あるいは複雑・高度な諸課題に専門性を持って貢献できる高度専門職業人を旨す人

機械・ロボット学分野の履修プロセス概念図

「機械・ロボット学」を柱とする横断的な専門知識を持ち
課題解決に向けて自主的・継続的に学習・計画・実行できる能力を持つ人材
修士(工学) 学位授与



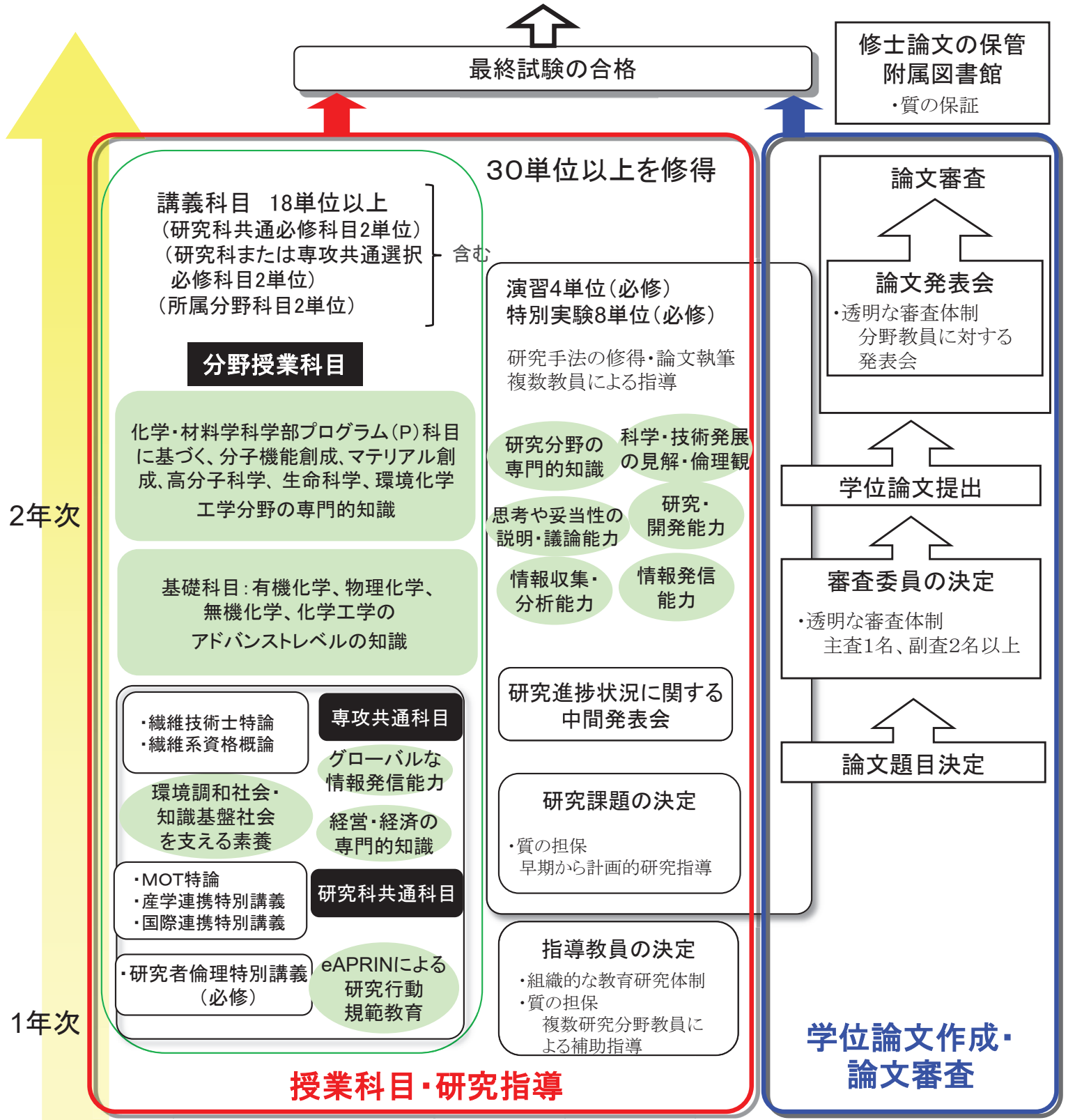
2年次

1年次

1. 大学等において能動的に学び、十分な基礎学力と緻密な思考力を身に付けている人
2. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲を持って取り組む人
3. 世界をリードする先進的・科学・技術を担う研究者、あるいは複雑・高度な諸課題に専門性を持って貢献できる高度専門職業人を旨す人

化学・材料分野の履修プロセス概念図

化学と材料を中心に据えつつ
技術イノベーションを見据えた幅広い観点から
研究開発をおこなえる人材
修士(工学) 学位授与



1. 大学等において能動的に学び、十分な基礎学力と緻密な思考力を身に付けている人
2. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲を持って取り組む人
3. 世界をリードする先進的・科学・技術を担う研究者、あるいは複雑・高度な諸課題に専門性を持って貢献できる高度専門職業人を目指す人

応用生物科学分野の履修プロセス概念図

応用生物科学に関する高度な専門知識と技術を具備し、
生命科学、環境保全、食糧生産などの人類が直面する
諸課題に対応することができる人材

修士(農学) 学位授与

最終試験の合格

修士論文の保管
附属図書館
・質の保証

30単位以上を修得

講義科目 18単位以上
(研究科共通必修科目2単位)
(研究科または専攻共通選択
必修科目2単位)
(専攻科目2単位)
(所属分野科目12単位以上)

分野授業科目

応用生物科学分野の専門知識

応用生物科学特論、インターンシップ実習

広範な視野

実践能力

・繊維技術士特論
・繊維系資格概論

環境調和社会・
知識基盤社会
を支える素養

・MOT特論
・産学連携特別講義
・国際連携特別講義

・研究者倫理特別講義
(必修)

専攻共通科目

グローバルな
情報発信能力

経営・経済の
専門的知識

研究科共通科目

eAPRINIによる
研究行動
規範教育

演習4単位(必修)
特別実験8単位(必修)

研究手法の修得・論文執筆
複数教員による指導

研究分野の 科学・技術発展
専門的知識 の見解・倫理観

思考や妥当性の 研究・開発能力
説明・議論能力

情報収集能力 情報発信能力
分析能力

研究進捗状況に関する
中間発表会

研究課題の決定

・質の担保
早期から計画的な研究指導

指導教員の決定

・組織的な教育研究体制
・質の担保
複数研究分野教員に
よる補助指導

論文審査

論文発表会

・透明な審査体制
公開による開催

学位論文提出

審査委員の決定

・透明な審査体制
主査1名、副査2名以上

論文題目決定

学位論文作成・
論文審査

授業科目・研究指導

1. 大学等において能動的に学び、十分な基礎学力と緻密な思考力を身に付けている人
2. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲を持って取り組む人
3. 世界をリードする先進的・科学・技術を担う研究者、あるいは複雑・高度な諸課題に専門性を持って貢献できる高度専門職業人を旨す人

2年次

1年次

総合理工学研究科生命医工学専攻(生体医工学分野) 履修プロセス概念図

・健康・福祉・医療・創薬分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観
 ・環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える健康・福祉・医療・創薬分野の高度な専門知識と実践的技術力
 ・さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力
 ・深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力
 以上の能力を有する人材

『修士(医工学)』学位授与

最終試験の合格

修士論文の保管
附属図書館
・質の保証

30単位以上を修得

講義科目
(研究科共通科目及び専攻共通科目(必修)各2単位)
(分野専門科目(必修)2単位,
分野専門科目(選択)2単位以上)

専門科目

生体医工学特論 2単位(必修) ほか
専門的知識・能力

専攻共通科目

応用科目

行政・企業インターンシップ研修
2~6単位
実践教育による専門的知識

基礎科目

医療倫理学・社会医工学
2単位(必修)
工学基礎, 生物学基礎
生命医工学の基本的知識

研究科共通科目

研究者倫理特別講義
2単位(必修)
研究者としての倫理観の醸成

研究テーマに関する
学外研究発表活動

演習4単位(必修)
特別実験8単位(必修)

研究手法の修得・論文執筆
複数教員による指導

研究分野の専門的知識
科学・技術発展の見解・倫理観

思考や妥当性の説明・批判的思考力
研究・開発能力

情報収集・分析能力
情報発信能力

研究進捗状況に関する
中間発表会

研究課題の決定

・質の担保
早期から計画的な研究指導

指導教員の決定

・組織的な教育研究体制
・質の担保
複数研究分野教員による補助指導

論文審査

論文発表会

・透明な審査体制
公開による開催

学位論文提出

審査委員の決定

・透明な審査体制
主査1名、副査2名以上

論文題目決定

学位論文作成・
論文審査

授業科目・研究指導

1. 大学等において能動的に学び、一般教養及び専門分野の基礎学力を身に付けている人
2. 健康・医療・福祉・創薬分野の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲をもって取り組む人
3. 科学技術を担う研究者あるいは高度専門職業人として社会をリードするとともに、その技術と知識を持って国際社会に貢献する意欲を持つ人
4. 科学技術の発展が社会にもたらす影響について十分に考え、社会及び自然環境に配慮したものづくりを目指す人

2-4 大学院共通教育用科目について

本学では、専門によらず幅広く学ぶことに役立つ科目を全大学院学生に開放し、自研究科以外で開講されている科目を受講することにより、広い視野を身につけてもらうことを目的として、大学院共通教育用科目を開講しています。2026年度の開講科目は以下のとおりです。

2026年度大学院共通教育用科目一覧

開講研究科	科目名	開講時期	担当教員名	単位	開講キャンパス 教室	備考
総合人文社会科学 研究科	教育心理学特論	前期 集中	島田英昭	2	オンライン開講	eALPSに掲載
	発達臨床生理心理学特論	前期 集中	宮地弘一郎	2	オンライン開講	eALPSに掲載
総合理工学 研究科	大学院と社会	前期 集不定	LI MIN	2	オンライン開講	eALPSに掲載
	大学発技術系ベンチャー実践論	前期 集不定	杉原伸宏	2	オンライン開講	詳細は後日
	臨床医学概論	後期 金4	植村健他	2	オンライン開講	eALPSに掲載
総合理工学 研究科・総合 医理工学研究科	科学技術政策特論	後期 (前半) 木3・4	米倉真一	2	オンライン開講	eALPSに掲載 (日程の詳細含む) ※2026年度最終開講 修了要件要確認
総合医理工 学研究科	知財管理特講	前期 集不定	松山紀里子	2	オンライン開講	eALPSに掲載
	イノベーション セミナー	未定	植村健他	2	未定	詳細は後日

履修登録及び記入上の注意

- * 受講を希望する場合は、「大学院共通教育用科目受講登録票」を所属研究科の指定する履修登録期日までに、所属研究科の学務担当窓口へ提出してください。
大学院共通教育用科目一覧にある科目であっても、自分の所属研究科の科目については、必ず所属研究科における履修登録を行ってください。
- * 科目によっては、受講登録票を利用せず受講登録を行う科目があります。必ず掲示等や所属研究科の学務担当窓口で確認してください。
- * 履修にあたっては、必ず事前に指導教員と相談し履修計画を立てたうえ、登録を行ってください。
- * 大学院共通教育用科目は全研究科で単位として認められますが、修了要件に含まれるか否かは研究科毎に異なります。必ず所属研究科の学務担当窓口で確認してください。
- * 各科目のシラバスは、「信州大学シラバス検索システム」から確認できます。
<https://campus-3.shinshu-u.ac.jp/syllabusj/Top>
「大学院共通教育用科目のみを検索」から検索
- * 時間割等の開講情報は変更となる場合があります。最新情報はシラバス、キャンパス情報システムで各自確認してください。

2-5 教育職員免許状（専修免許）の取得方法について

① 取得できる免許状の種類

<高等学校専修免許状（工業）>

・繊維学専攻

先進繊維・感性工学分野 先進繊維工学ユニット

機械・ロボット学分野

<中学校専修免許状（理科）>

・繊維学専攻

化学・材料分野

応用生物学分野

・生命医工学専攻

生命工学分野

生体医工学分野

<高等学校専修免許状（理科）>

・繊維学専攻

化学・材料分野

応用生物学分野

・生命医工学専攻

生命工学分野

生体医工学分野

② 当該専修免許状に係る1種免許状を有していること、又は1種免許状を取得（申請）可能な科目・単位が揃っていること。

③ 修士課程開講授業科目及び担当教員等の表中の「教免区分」で、取得希望免許に係る科目単位を24単位以上取得すること。

『教免区分』欄

専工：高等学校専修免許状（工業）

専理：中学校専修免許状（理科）、高等学校専修免許状（理科）

④ 修士の学位を取得していること。

※注意・所属分野（ユニット）の当該教免区分科目の履修のみでは24単位に足りない場合もあります。その場合は他分野（ユニット）から当該教免区分科目を取得することになります。

2-6 特例の履修制度について

『信州大学大学院総合理工学研究科(修士課程)における交流協定に基づく留学に伴う教育課程の計画的特例履修に係る申合せ』

信州大学大学院学則(平成16年4月7日信州大学学則第2号。以下「学則」という。)第38条の2の規定に基づき、信州大学大学院総合理工学研究科(修士課程)の学生(以下「学生」という。)が、信州大学大学院と外国の大学院等との間において締結した交流協定(研究科間交流協定及びこれに準ずるものを含む。以下「交流協定」という。)に基づく留学により、学則第15条に定める標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修すること(以下「計画的特例履修」という。)に係る取扱いを、次のとおり定める。

第1 申請資格

計画的特例履修の申請を行うことができるのは、交流協定に基づき留学する1年次の学生(大学院学則第38条による長期にわたる教育課程の履修を認められている学生を除く。)とする。

第2 計画的特例履修の申請手続

計画的特例履修の開始日は、原則として計画的特例履修を申請した年度の翌年度とする。

第3 計画的特例履修が適用された場合の修業年限計画的特例履修が適用された場合の修業年限は、3年間を超えることはできない。

第4 申請手続

- 1) 計画的特例履修を希望する学生は、原則として留学を希望する2か月前までに「計画的特例履修申請書」(別紙様式1)を研究科長に提出する。ただし、2年次在学中に留学を希望する場合は、1年次在学中の1月末日(10月入学者は7月末日)までに提出するものとする。
- 2) 計画的特例履修を許可された学生が休学する場合は、休学する1か月前までに「休学に伴う計画的特例履修期間変更申請書」(別紙様式2)を研究科長に提出する。
- 3) 計画的特例履修を許可された学生が、当該履修の期間を短縮する場合は、各学期が終了する2か月前までに「計画的特例履修期間短縮申請書」(別紙様式3)を研究科長に提出する。

第5 計画的特例履修の許可及び報告

研究科長は、第4に定める申請があったときは、大学院総合理工学研究科代議員会(以下「代議員会」という。)の議を経て、許可の可否を決定し、許可した場合、「計画的特例履修許可書」(別紙様式4)、「休学に伴う計画的特例履修期間変更許可書」(別紙様式5)又は「計画的特例履修期間短縮許可書」(別紙様式6)により当該学生に通知するとともに、学長に報告する。

第6 授業料の納入

計画的特例履修を許可された学生は、信州大学授業料等に関する規程(平成16年信州大学規程第85号)に定める授業料の額を各学期の納入期限までに納入するほか、計画的特例履修の期間の短縮を許可された場合及び学年の途中で修了する場合も同規程による。

第7 その他

この申合せに定めるもののほか、計画的特例履修に関し必要な事項は、代議員会が定める。

附 則

この申合せは、平成26年1月17日から施行する。

附 則

この申合せは、平成28年7月14日から施行する。

附 則

この申合せは、令和3年7月28日から施行する。

『長期履修学生制度の取扱要項』

この取扱要項は、信州大学大学院総合理工学研究科規程（平成28年信州大学規程第 号）第16条に定める長期にわたる教育課程の履修（以下「長期履修学生制度」という。）について、社会人学生等を対象に計画的な長期在学・履修により修学の便宜と授業料の軽減を図ることを目的として、本研究科における取扱いを、次のとおり定める。

1. 申請資格
原則として職業を有している社会人とする。
2. 長期履修の開始日
原則として年次の始めとする。
3. 長期履修の在学年限
4年間を超えることはできない。
4. 申請手続き
長期履修を希望する学生は、入学手続期間内に「長期履修希望調書」（別紙様式1）を、入学後に「長期にわたる教育課程の履修申請書」（別紙様式2）を研究科長に提出する。
在学生にあっては1年次の後学期が終了する2か月前までに「長期にわたる教育課程の履修申請書」（別紙様式2）を研究科長に提出する。
休学に伴う変更については、「休学に伴う長期にわたる教育課程の履修計画変更申請書」（別紙様式3-1）を研究科長に提出する。
また、相当の理由により長期履修期間を延長する場合は、「長期にわたる教育課程の履修期間変更申請書」（別紙様式3-2）を研究科長に提出する。
5. 履修期間の短縮申請手続き
申請が認められた学生が在学期間を短縮する場合は、各学期が終了する2か月前までに「長期にわたる教育課程の履修期間の短縮申請書」（別紙様式4）を研究科長に提出する。
6. 審査及び報告
研究科長は、提出された申請書の審査を専攻会議に付託する。
なお、審査結果は、当該学生あてに許可書（別紙様式5, 6-1, 6-2, 7）を通知するとともに、学長に報告（別紙様式8, 9-1, 9-2, 10）する。
7. 授業料の納入
申請を許可された学生は、「信州大学授業料等に関する規程（平成16年信州大学規程第85号）」が定める長期履修学生の所定の授業料を各学期の納期限までに納入する。そのほか、短縮を許可された場合及び学年途中で修了する場合も同規程による。

附 則

この取扱いは、平成28年4月1日から施行する。

3-1 大学院総合理工学研究科学位論文等審査 及び最終試験並びに修了判定実施要項

(趣旨)

第1条 この要項は、信州大学大学院学則（平成16年4月7日信州大学学則第2号。以下「大学院学則」という。）第43条の規定に基づき、信州大学大学院総合理工学研究科（以下「研究科」という。）の修士学位論文又は特定の課題についての研究の成果（以下「学位論文等」という。）の審査及び最終試験並びに修了判定の実施に関し必要な事項を定める。

(学位論文等の提出)

第2条 学位論文等の提出は、次の各号のとおり行う。

- 一 申請者は「修士学位論文等審査申請書」（様式1）に学位論文等を添えて指導教員を経て研究科長に提出する。なお、各専攻は必要に応じ論文要旨等を提出させることができる。
- 二 提出期限は、3月又は9月修了に応じて各専攻の定める日とする。
- 三 各専攻が別に定める場合、様式の変更及びシステム等の媒体を用いて電子データによる提出とすることができる。この場合、申請の項目等は様式に準じた内容によるものとし、また提出は申請者本人が提出したことが確実に判別できる方法によるものとする。

(審査委員会)

第3条 研究科長からの付託を受けて、研究科委員会は申請者1名について3名以上の研究科の研究指導教員（主査1名、副査2名以上）をもって組織する審査委員会を設け、学位論文等の審査及び最終試験を行う。ただし、審査委員会の設置は各専攻に委託する。

- 2 前項の学位論文の審査に当たっては、各専攻が必要と認めた場合、他の研究科、他の大学院又は研究所等の教員等を副査として加えることができる。
- 3 審査委員会は、学位論文等の審査結果並びに最終試験結果を「修士学位論文等審査及び最終試験結果報告書」（様式2）により、研究科長に報告する。
- 4 各専攻が別に定める場合、前項の結果報告書の様式の変更及びシステム等の媒体を用いて電子データによる提出とすることができる。この場合、報告の項目等は様式に準じた内容によるものとし、また提出は審査委員長本人が提出したことが確実に判別できる方法によるものとする。

(学位論文等の審査)

第4条 学位論文等審査は、3月又は9月修了に応じて各専攻の定める期間に行うと共に、発表会を開く。

(最終試験)

第5条 最終試験は学位論文等に関係ある科目について口頭又は筆答により行う。

- 2 最終試験は、3月又は9月修了に応じて各専攻の定める期日までに行う。

(ランドスケープ・プランニング・プログラム)

第6条 第2条～第5条の規定に係わらず、大学院総合理工学研究科規程第4条の5に定めるランドスケープ・プランニング・プログラムの履修生については別に定める。

(修了判定)

第7条 研究科委員会は、審査委員会の報告に基づき、課程修了の可否について議決する。

(学位論文等の保管)

第8条 学位論文等は、審査終了後、学部の図書館及び指導教員がそれぞれ保管する。この場合、指導教員が学位論文を保管する期間は、当該指導教員が信州大学に在職する期間とする。なお、学位論文は、印刷物又は電子媒体で保管する。

(雑則)

第9条 この要項により難い事案が発生した場合は、研究科委員会において審議の上、決定する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

1. この要項は、平成29年11月9日から施行する。

附 則

1. この要項は、令和2年9月10日から施行する。

附 則

1. この要項は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

1. この要項は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

1. この要項は、令和7年4月1日から施行する。

3-2 信州大学大学院総合理工学研究科修士論文評価基準

信州大学大学院総合理工学研究科は、以下の基準に拠り、論文審査および口頭試問等を経て、審査委員会が最終的な評価を決定する。

1. [独創性・意義]

研究目的、研究手法あるいは研究成果は、十分な独創性または意義を有するか。また、学術研究が従うべき規範を守り、研究者としての研究倫理を身に付けているか。

2. [実験・調査]

研究を遂行するために実施した実験・調査は、適切な方法に基づいて行なわれているか。また、その分析は正確で、結果や解釈が妥当であるか。

3. [関連資料・参考文献]

研究を遂行するために利用した関連資料・参考文献について、正確な読解、的確な把握、また妥当な解釈がなされているか。あるいは客観的に正当な批判や批評が提示されているか。

4. [論証方法・論旨とデータ（資料）の提示方法]

問題提起から結論にいたる論証方法と論旨は、明解かつ妥当であるか。また実験データ・調査資料の提示と展開の方法は適切であるか。

5. [表現の的確性]

日本語もしくは使用外国語について、語句や学術用語の使用は的確で、文章表現は論理的であるか。

6. [論文の体裁]

本文、章立て、注記、関連資料・参考文献からの引用、図表等は、論文構成において、体裁が整っているか。

7. [総合的評価]

当該分野の研究において、総合的に評価して修士論文に値するか。

(ただし書き)

- 1) 項目2と3の評価基準は、いずれか一方、もしくは両方を採択しうることを示す。
- 2) 参考図書・論文・史料・統計資料・辞書・地図・インターネット資料その他、参照する全ての資料・図版等については、「関連資料・参考文献」と表記した。
- 3) 実験、実地調査、聞き込み調査、情報・資料提供者（インフォーマント）との面談等、実施する全ての研究作業については、「実験・調査」と表記した。
- 4) 前項の「実験・調査」によって収集され、分析の対象となるもの全てについては、「実験データ・調査資料」と表記した。

附則

この基準は平成28年4月1日より施行する。

4-1 学生の懲戒について

本学の規則に違反し、または学生としての本分に反する表1のような行為は、懲戒(退学・停学・訓告)の対象となります。

対象となる行為には、アルコール飲料に関すること、自動車運転に関すること、コンピューターやネットワークに関することなど、身近な行為が原因となることもあります。

また、試験でのカンニング、レポート等でのコピペ、授業出席の代返等を行った場合も、懲戒の対象となります。(主な事例は、表2参照)なお、懲戒処分を受けた場合、進級・卒業が遅れる等の不利益を被る場合があります。

【表1】

懲戒対象行為		該当する懲戒の種類
区分	事項	
A 学内秩序を乱す行為	① 「国立大学法人信州大学におけるハラスメント等の防止等に関する規程(平成16年国立大学法人信州大学規程第27号)」に抵触する行為	退学, 停学(無期又は有期) 又は訓告
	② 本学が実施する試験等における不正行為(詳細は、別表に掲げる事例とする。)	退学, 停学(無期又は有期) 又は訓告
	③ 飲酒を強要し, アルコール飲料の一气飲み等が原因となり死に至らしめた行為	退学又は停学(無期)
	④ 飲酒を強要し, アルコール飲料の一气飲み等が原因となり急性アルコール中毒等の被害を与えた行為	退学, 停学(無期又は有期) 又は訓告
	⑤ 20歳未満の者と知りながら飲酒を勧める行為	停学(無期又は有期) 又は訓告
	⑥ 20歳未満の者の飲酒行為	停学(無期又は有期) 又は訓告
	⑦ 本学の教育研究又は管理運営を著しく妨げた行為	退学, 停学(無期又は有期) 又は訓告
	⑧ 本学構成員に対する暴力行為, 威嚇行為, 拘禁行為, 拘束行為等	退学, 停学(無期又は有期) 又は訓告
	⑨ 本学が管理する建造物への不法侵入又は不正使用, 若しくは占拠した行為	停学(無期又は有期) 又は訓告
	⑩ 本学が管理する建造物又は器物等の損壊行為, 汚損行為, 不法改築行為等	停学(無期又は有期) 又は訓告
	⑪ 「信州大学の研究活動における不正行為の防止等に関する規程(平成19年信州大学規程第154号)」に抵触する行為(データ捏造・改ざんに関わる行為, 論文盗用, 著作権の侵害等)	退学, 停学(無期又は有期) 又は訓告
	⑫ 反社会的団体の活動を行っており, その活動が他の学生等に影響を及ぼし本学の秩序を乱すものと認められた行為	退学, 停学(無期又は有期) 又は訓告
	⑬ 違法薬物(麻薬, 大麻等)と類似の効果を持つ薬物を, 正当な理由(治療目的等)なく, 使用, 所持, 譲渡, 仲介若しくは入手しようとする行為	退学, 停学(無期又は有期) 又は訓告
	⑭ 本学の名誉又は信用を著しく傷つける行為	停学(無期又は有期) 又は訓告
B 等 犯罪行為	① 殺人, 強盗, 不同意性交等, 放火等の凶悪な犯罪行為又は犯罪未遂行為	退学
	② 薬物犯罪行為(麻薬・大麻等の薬物使用・不法所持・売買・仲介等)	退学又は停学(無期又は有期)
	③ 傷害, 窃盗, 詐欺, 恐喝, 賭博, 住居侵入, 他人を傷害するに至らない暴力行為等の犯罪行為	退学又は停学(無期又は有期)

	④ 不同意わいせつ、性的姿態撮影等の性犯罪行為（盗撮、痴漢、公然わいせつ、児童買春、児童ポルノ製造等の性的な犯罪行為を含む。）	退学又は停学（無期又は有期）
	⑤ 「ストーカー行為等の規制等に関する法律（平成12年法律第81号）」に定める犯罪行為	退学又は停学（無期又は有期）
	⑥ コンピューター又はネットワークを用いた犯罪行為	退学又は停学（無期又は有期）
	⑦ その他上記の犯罪行為に準ずる非違行為	停学（無期又は有期）又は訓告
C 交通事故・違反	① 死亡又は高度な後遺症を伴う交通事故を起こした場合で、その原因行為が無免許運転、飲酒運転、暴走運転等の悪質な場合	退学
	② 人身事故を伴う交通事故を起こした場合で、その原因行為が無免許運転、飲酒運転、暴走運転等の悪質な場合	退学又は停学（無期又は有期）
	③ 無免許運転、飲酒運転、暴走運転、飲酒運転の幫助行為等の悪質な交通法規違反行為	停学（無期又は有期）
	④ 死亡又は高度な後遺症を伴う人身事故を起こした場合で、その原因行為が過失の場合	退学又は停学（無期又は有期）
	⑤ 後遺症等を伴う人身事故を起こした場合で、その原因行為が過失の場合	停学（無期又は有期）又は訓告

【表2】

本学が実施する試験等における不正行為の事例		単位認定の可否	
		当該科目	不正行為を行った学期の科目
単位認定に係る試験時の行為	替え玉受験をすること及び替え玉受験を依頼すること。	認定しない	認定しない
	許可されていないノート又は参考書等を使用すること。		
	答案を交換すること。		
	他の受験者の答案を見ること又は他の受験者に答案を見せること。		
	試験監督者の注意又は指示に従わない場合で特に悪質と認められるもの。		
	その他不正な行為と認められること。		
単位認定に係るレポート（卒業論文等含む）の行為	他人の著作物を盗用すること。	認定しない	認定しないことができる
	実験や調査結果のデータを捏造又は偽造すること。		
	他人が書いたレポート並びに著作物を自分のものとして提出すること。		
他の学生に成り代わり授業に出席又は代返等の行為を行った者並びに同行為を依頼した者。	認定しないことができる	特に悪質な場合認定しないことができる	
授業の実施に係るその他不正な行為と認められること。			

4-2信州大学における授業の出席に関する要項

(令和4年11月16日信州大学要項第82号)

第1 趣旨

この要項は、信州大学の学生の授業の出席に関し、必要な事項を定める。

第2 授業への出席

学生は、履修する授業の全ての回に出席することを基本とする。

第3 授業に出席できない場合の学修の補充

- 1 学生は、第4に規定する事由により授業に出席できない場合は、第5に規定する方法により、授業担当教員に、当該授業内容について学修の補充を受けるための申出を行うことができる。
- 2 学生から前項に基づく申出を受けた授業担当教員は、当該授業時間分の学修について補充し、当該学生が履修上不利益とならないように配慮するものとする。ただし、複数回にわたり出席できない等の理由により単位の修得が困難であると授業開講部局が判断した場合には、これを行わないことがある。
- 3 前項に規定する学修の補充は、レポートやe-Learningの活用等、当該授業の特性に合わせた方策により行うものとする。
- 4 学生が第4に規定する事由以外の事由で授業に出席できない場合の学修の補充は、授業担当教員の判断によるものとする。
- 5 学生が学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症にかかった場合等の学修の補充は、信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項(令和3年信州大学要項第74号)において定める。

第4 学修の補充の対象とする事由、対象期間及び学修の補充の申出に必要な書類

第3第2項に規定する学修の補充の対象とする事由、対象期間及び学修の補充の申出に必要な書類は次の表のとおりとする。

学修の補充の対象とする事由	必要書類	学修の補充の対象期間
2親等以内の親族又は配偶者（婚姻の届出をしないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。以下この表において同じ。）が死亡し、葬儀等のために授業への出席が困難である場合	会葬礼状等、事実が確認できる書類	1親等の親族又は配偶者の死亡は連続する7日以内、2親等の親族は連続する3日以内
病気やけがで授業への出席が困難である場合	授業への出席が困難であることの事情及び期間が分かる診断書等の書類	病気やけがで授業への出席が困難であると認められる期間
裁判員の参加する刑事裁判に関する法律に基づく裁判員の選任手続及び裁判員の職務従事のため裁判所に出頭する場合	裁判所からの呼出状又は出頭証明書の写し	移動時間を含めた、当該手続及び職務の遂行に必要であると認められる期間
災害又は公共交通機関の遅延・運休により、授業への出席が困難である場合	罹災証明書、公共交通機関が発行する遅延又は運休等の事実が確認できる証明書類	災害又は公共交通機関の遅延・運休により当該授業に出席できなかったと認められる期間
その他授業開講部局の長が認める場合	授業に出席できない事由の概要及び期間が分かる書類	授業開講部局の長が認める期間

- 2 前項のその他授業開講部局の長が認める場合の詳細は、授業開講部局の学生便覧等において定める。

第5 学修の補充の申出に関する手続

- 1 学生は、第3第1項に規定する申出として、授業開講部局が定める申出書に第4に規定する必要書類を添えて、各部局の事務担当者に、事由の発生後できるだけ速やかに提出する。
- 2 各部局の事務担当者は、学生から提出された申出書を、学生が履修登録している授業の担当教員に送付する。
- 3 その他の手続に関する詳細は、授業開講部局の学生便覧等において定める。

附 則

この要項は、令和5年4月1日から実施する。

4-3 信州大学における大雨・大雪・暴風時の授業の取扱いに関する要項

(令和5年9月20日信州大学要項第86号)

第1 趣旨

この要項は、信州大学における大雨・大雪・暴風時の授業の取扱いに関し、必要な事項を定める。

第2 定義

この要項において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 警報 大雨警報, 大雪警報, 暴風警報又は暴風雪警報をいう。
- (2) 特別警報 大雨特別警報, 大雪特別警報, 暴風特別警報又は暴風雪特別警報をいう。
- (3) 公共交通機関 鉄道(新幹線及び特別急行列車を除く。)及び路線バスをいう。
- (4) 遠隔授業 履修する学生全員に対しオンラインで実施する授業をいう。

第3 休講の決定者

各キャンパスにおける休講の決定者は、次の各号のとおりとする。

- (1) 松本キャンパス 教学グローバル担当の理事
- (2) 長野(教育)キャンパス 教育学部長
- (3) 長野(工学)キャンパス 工学部長
- (4) 伊那キャンパス 農学部長
- (5) 上田キャンパス 繊維学部長

第4 休講の判断基準

- 1 各キャンパスの所在地域を対象とする警報が発表された場合又は警報の発表が予想される場合、第3に規定する休講の決定者は、当該キャンパス所在地域の公共交通機関の運休又は運休計画の状況を勘案して、休講措置を決定する。
- 2 前項に規定する休講措置を決定する時期と対象授業の範囲は次の表のとおりとする。

時期	対象授業の範囲
前日午後4時時点	翌日に開講する全時限又は一部の時限の授業
午前7時時点	当日に開講する全時限又は一部の時限の授業
午前10時時点	当日午後(夜間含む)に開講する全時限又は一部の時限の授業

- 3 各キャンパスの所在地域を対象とする特別警報が発表された場合、当該キャンパスにおいてその日に実施する授業を直ちに休講とする。

第5 休講措置の特例

- 1 第4に基づく休講措置にかかわらず、次の各号に掲げる要件をすべて満たす場合には、授業担当教員の判断により、休講とせず遠隔授業を実施すること又は面接授業を遠隔授業に変更して実施することができる。なお、面接授業を遠隔授業に変更する場合には、面接授業に相当する教育効果を有する必要があることに留意するものとする。
 - (1) 当該授業を履修するすべての学生に対し、休講とせず遠隔授業を実施することについて、事前の周知を行うこと。
 - (2) 当該授業を履修するすべての学生の安全及び通信環境が確保できることについて、授業担当教員が事前に確認していること。
- 2 各キャンパス以外の施設で行う実習等の授業は、第4に規定する判断基準を準用して授業担当教員が休講措置を決定する。

第6 学生への周知等

- 1 休講の決定を行った場合は、学生に対し、次の各号に掲げる方法で周知するものとする。ただし、不測の事態によりこれらの周知方法をとることができない場合は、この限りでない。
 - (1) ウェブサイトへの掲載
 - ア 松本キャンパス 信州大学ウェブサイト(在学生向けお知らせのページ)
 - イ 松本キャンパス以外の各キャンパス 各学部ウェブサイト
 - (2) キャンパス情報システムの「大学からのお知らせ」への掲載
 - (3) 対象学生へのメール送信
- 2 当日の授業開始後に休講に関する周知を要する場合は、前項に掲げる方法に加え、必要に応じて校内放送又は授業担当教員を通じて周知を行うものとする。

第7 補講

休講措置を講じた場合は後日補講を行うものとし、補講日は各授業開講部局で決定する。

第8 授業への出席が困難な場合の取扱い

休講措置を講じない場合であっても、災害又は公共交通機関の遅延・運休により、学生が授業に出席できないときは、信州大学における授業の出席に関する要項(令和4年信州大学要項第82号)に基づき、必要な措置を講ずる。

附 則

- 1 この要項は、令和5年9月21日から実施する。
- 2 台風・大雪等における授業及び試験の取り扱いについて(平成21年12月16日教育研究評議会決定)は、廃止する。

附 則(令和6年9月30日令和6年度要項第12号)

この要項は、令和6年10月1日から実施する

4-4 信州大学繊維学部, 信州大学大学院総合理工学研究科修士課程繊維学専攻進級に関する申合せ

(令和2年2月20日 教員会議決定)

(趣旨)

第1 この申合せは, 信州大学繊維学部(以下「繊維学部」という。), 信州大学大学院総合理工学研究科(修士課程)繊維学専攻(以下「修士課程」という。)の学生の進級に関し必要な事項を定める。

2 繊維学部においては, 4年次への進級判定(各学科等が別に定める進級に必要な最低修得単位数等のカリキュラム上の条件に対する判定をいう。以下同じ。)のみ実施することとし, 修士課程においては, 進級判定は実施しないことを前提とする。

(進級の時期)

第2 進級の時期は, 4月1日又は10月1日とする。

(進級条件)

第3 上位の学年への進級条件は, 在籍年次に12ヵ月以上在学(休学期間及び停学期間を除く。以下同じ。)

することとする。

2 繊維学部4年次への進級については, 前項の在学月数を満たし, かつ, 各学科が別に定める進級に必要な条件(最低修得単位数等のカリキュラム上の条件)を満たした者を対象とする。

(年度途中に進級した者のガイダンス及び履修)

第4 年度の途中において進級した者は, 学科等が行うガイダンスを受けるものとし, 当該者が履修できる授業科目は, 学科等の定めるところによる。

(繊維学部4年生への進級判定)

第5 繊維学部4年生への進級判定は, 学年末及び前期末に実施することとし, 進級判定が可能となった直後の学科会議に諮った後, 教員会議で決定する。

2 進級判定の対象者は, 繊維学部3年生のうち, 当該学期末時点において3年次に12ヵ月以上在学した者のみとする。

(雑則)

第6 この申合せにより難しい事案が発生した場合は, 学務委員会において審議の上, 決定する。

2 進級に関する事務は, 学務グループ(学務係)において処理する。

附 則

1 この申合せは, 令和2年4月1日から施行する。

2 令和2年3月31日に在学する者のうち, 令和2年4月1日付で1年次に在籍する者については, 『学修便覧』において定めた「2年次への進級要件(単位数)」は廃止するものとする。(令和2年10月1日以降は, 第3項の進級条件を満たせば進級する。)

3 10月進級に関する申合せ(繊維学部)(平成13年3月27日(火)教官会議決定)は, 廃止する。

4-5 総合理工学研究科 関係規則・規程集

- ・ 下記リンク集から関係する規則・規程等を確認できます
- ・ 以下のサイトの「規則一覧」で、規則名を「題名検索」で検索して閲覧することもできます

国立大学法人 信州大学規則集 <https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/>

規則・規定
信州大学大学院学則 https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/110000057.html
信州大学学位規程 https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/110000058.html
信州大学大学院総合理工学研究科規程 https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/110000954.html
信州大学授業料等に関する規程 https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/110000230.html
信州大学入学料, 授業料及び寄宿料の免除等に関する規程 https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/110001260.html
信州大学学生生活に関する通則 https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/110000239.html
国立大学法人信州大学における掲示に関する規程 https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/110000071.html
信州大学附属図書館利用規程 https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/110000828.html
信州大学における学生の懲戒に関する規程・ガイドライン https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/110000234.html
信州大学における学籍上の氏名及び性別に関する取扱要項 https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/110001203.html
信州大学における授業の出席に関する要項 https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/regulations/act/110001249.html

4-6 『信大コンピテンシー』— 未来を共創するために —

令和5年12月20日

学長 中村 宗一郎

■信州で学生・教職員が未来を共創するためのバックボーン

信州大学は、創設時から70年以上今日まで信州の豊かな自然のなかで、その歴史と文化・人々の営みに寄与し、信州と共に歩み続けています。

これまでの歩みが持つ意味・意義を自覚し自信と誇りとし、これからの豊かな地域・我が国、そして世界に向かって、本学の学生・教職員の皆さんが、この信州で「縁」あって共に在ることの意味・意義、バックボーンが必要とされています。

■『信大コンピテンシー』について

「信州大学の理念」(<https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/philosophy/mission/>)を集約する形で、このたび『信大コンピテンシー』を次のように決めました。

【信大コンピテンシー】

信州という美しい環境で、人を敬い自然を愛しつつ、豊かな未来を切り拓く力を身につけている。

■『信大コンピテンシー』は、大学での営み全体を通じて育まれます!

信大コンピテンシーは、大学における全ての営みを通じて育まれるものです。学生の皆さんでしたら、授業を中心とする学修はもちろん、課外活動や学外での活動などを通じて育まれます。教職員の皆さんでしたら、大学での様々な取組みを通じて育まれます。

信州大学に集う学生・教職員の皆さんが、豊かな未来を共創するために、本学での全ての営みを通じて、『信大コンピテンシー』を育ててくださることを期待しております。

【参考】中期目標・中期計画(4)ー1

「各学部における専攻分野の教育及び全学的なリベラルアーツ教育の充実に取り組む。また、学生が自らの学修成果を適切に把握して主体的に学びを深めていくための仕組みとして「学びの履歴書」(ディプロマ・サプリメント)を発行し、学修成果の可視化を行う。これらの取組により、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む能力等である「信大コンピテンシー」を有する学生を養成する。」

4-6 信州大学の学修・教育におけるAI活用に関するガイドライン

国立大学法人信州大学教育企画委員会（令和5年7月21日承認）

学生・教員共通

【AIの活用】

人類とAIが共創する社会に向けて、授業等の学びの場でAIを活用しましょう。

【情報保護の徹底】

個人情報や守秘義務のある情報等の保護を徹底してください。AIの中には、入力された情報を蓄積し再利用するものがあり、情報が外部に漏れる可能性があります。

【著作権等保護の徹底】

著作権等の侵害にならないように注意してください。AIの出力と自らのアイデアを区別し、必要に応じて適切な引用を行ってください。AIの出力に著作物の内容がそのまま含まれている場合、これに気付かず当該の出力を用いると剽窃に当たる可能性があります。

【情報収集の必要性】

AIと学びに関する情報収集に常に努めましょう。AIは急速に進化していますので、新たな問題が短期間で現れてくる可能性があります。

学生

【批判的判断の重要性】

AIの出力が正しいとは限らないことに注意してください。AIの出力が本当に正しいのか、別な見方や考え方があるのではないか、筋道立てて考えているか等、常に批判的に考察することが、あなたの知的な成長につながります。

【授業達成目標に適した活用】

授業達成目標に適した活用を心がけてください。自分の解答をAIに委ねるなど、あなたの学びを妨げないようにしてください。

【授業ルールの遵守】

授業ごとに定められるルールに従ってください。教員は授業達成目標や授業内容に応じてルールを定めることがあります。学びの効果を高めるための配慮ですので、教員の指示に従ってください。

教員

【授業ルールの公開・周知】

授業達成目標や授業内容に応じて必要なAI活用ルールを定め、周知してください。その際には、活用の範囲や条件を具体的に示してください。

【評価方法の工夫】

必要に応じて、AI活用を前提に、AIだけでは解決できない課題設定を検討してください。

【AI活用方法の提案】

AIの活用法をそれぞれの学術分野で探究し、学生にAIに対する理解を深めるよう求め、有用な活用法を伝えてください。

2026年4月発行

発行・編集 信州大学繊維学部 学務グループ

〒386-8567 長野県上田市常田 3-15-1

連絡先 TEL (0268) 21-5424